

Ⅲ. OBOG の現職保育者・離職者等を対象としたキャリア形成支援

本事業の一つとして、11月18日（土）にOBOGの現職教諭・離職者等を対象とした本学教員による研修会と、保育職について語る場を設けることになり、当日は18名のOBOGが参加した。

1. OBOGの現職保育者対象の専門家による研修

この研修会はOBOGの現職保育者を対象に行った事前のヒアリングの内容をもとに、幼稚園での勤務経験をもつ中野圭祐助教による「遊びを充実させるための環境構成と保育者の役割」をテーマに行われた。分かりやすい資料をもとに、子どもの実態を把握し、ねらいを立て、状況をつくる（環境を構成する）ことを確認するとともに、子どもの育ちを読み取り、



図 2.3.1 OBOG を対象とした研修

そこから環境の構成へ展開させる方法について具体的に指導が行われた。

同席した塩谷香教授からは、子どもにとってよい保育をするためには、保護者と本当の意味での信頼関係を築くことがとても大事である、という助言があり、参加者のうなずく姿が印象的であった。

このように母校で、保育職に就いている同窓生とともに研修を受講することは、自治体や職場での研修とはやや異なり、保育を

志そうと決めた学生の頃を思い起こし懐かしさとともに初心に戻る機会となったことが発言から聞かれた。

終了後、出席者に研修についてのアンケート調査を実施したところ、94%が「よかった」、5%が「まあよかった」という満足度が高い結果が得られた。保育に対して悩みを感じていても、母校で同窓生とともに研修等を通じて学びを深め、新たな視点を得ることで、明日からの保育に対し前向きな気持ちをもつことができた様子は、寄せられた感想からもうかがえた。その一部を紹介する。

- ・研修を受けて、保育の面白さや子どもたちの発想の豊かさに改めて気づきました。最近保育中に余裕がなくなり、丁寧な保育ができていないなど反省の日々だったので、また月曜日から心にゆとりをもって「子どもたちの楽しい！」をいっぱい引き出せるように頑張ります!!!
- ・日々の保育に置き換えながら聞かせていただきました。共感する部分と来週から取り入れたいと思えるわくわくする部分が多くありました。日々悩むこともあるけれど、保育って面白い楽しいなと感じました。



図 2.3.2 研修資料

2. 保育職について経験から語る

—大変なこと、よかったこと、続けるための必要な条件—

研修後、本学卒業生の現保育者・離職経験者 18 名に、「保育職の大変なこと、困っていること」「保育職でよかったと思うこと」「保育職を続けるために、必要な条件」の 3 つのテーマについて茶話会を設けた。本学教員（吉永、塩谷、野澤、青木、柳生、中野、島田）とともに、保育職の経験年数や園の特色、担当クラス等、様々な立場から、悩みや喜び、希望など率直な思いを語り合った。

(1) 保育職の大変なこと、困っていることは？

幼稚園 6 年目：保護者に、子どもたちがこんなに可愛くていろいろなことが育っていることが伝わらないことがある。保護者と一緒に子どもの育ちを見ていきたい、育ちを分かち合いたいということがなかなか伝わらないのが難しいな、大変だな、困ったなと思う。

卒業して 7 年目、一般企業から幼稚園に転職、働きながら産休・育休を経て復職：こだわり出したら切りがない、1 日 24 時間では足りない。自分の子どもの保育園の迎えの時間もあり、時間配分やバランスが難しい。

4 年間児童館勤務後、保育所 1 年目：0 歳児の「共食」で、その子のできることできないことを見極めながら、援助していくことが難しく困っている。

認定こども園の幼稚園 1 年目：幼稚園採用と思っていたら、実際に働く場所が保育園みたいところで、早番遅番、お昼寝もあり、驚いた。毎日が初めてのことが多くどんどん毎日が過ぎていく。

幼稚園 1 年目：クラスの 23 人の子どもを一人で見ないといけない。全体を見つつ、一人一人見ていくことに対して難しいなと思っている。

幼稚園 1 年目：教師としては何もかも初めてで具体的な想像ができない中、日々仕事をしていることが大変だと感じている。事務仕事や研修もたくさんあり、指導案を書いたりする中で、もっと保育に力を入れたいし考えたいこともあるが、健康的な生活を送るためには諦めなければならないこともたくさんあり、そこの兼ね合いは大変だな、難しいな、と思う。

保育所 2 年目：早番や遅番の時間帯に自分のクラスではないクラスに入ることがあり、そのクラスのその子がどういう一日を過ごしていたのか、最近の様子はどうかなど把握しきれていないこともあり、声のかけ方や関わり方が、大変だなと思っている。

保育所 5 年目：今年度幼児リーダーを務めているので、その日の幼児クラスの休憩回しや事務時間確保のローテーションを組んでいる。事務系のことも考えながらクラス運営していかなければいけないのはすごく大変。子どもが心地よく過ごすのも考えながら、働く職員もどうやったら心地よく働きやすくできるのか、二つのところを考えながら保育をするというのが大変で、今すごく頑張っているところである。

2 年間の幼稚園勤務から保育所で非常勤に転職 3 年目：公立幼稚園を辞めて保育園に転職し、最初は幼稚園と保育園の違いが大きくて、なかなかついていけないなと思うことも多か

った。今は保育園で3年働いていて生活リズムも分かってきて、楽しいこともたくさん増えて保育園もいいところだなと感じている。保育職の大変なことは、最初は慣れない環境だと何をしたいか分からないこと。自分のやりたいことと園の方針、上の人たちとの保育観と自分の保育観がそれぞれあり、自分の気持ちを伝えられなくて、うまくいかないみたいなこともあると思う。そういう人と人との関わりも大変だなと思うことが多い。自分の



図 2.3.3 保育職について語り合う

の思いと技量が合わない、そういうこともあると思う。(経験を)積み重ねて、年数を重ねて自分もスキルアップしていくことでだんだん埋まっていくものかなと思う。私もまだまだ積み重ねている途中なので、もっともっと頑張りたい。

認定こども園 5年目: 今、発表会前なので、行事と普通の遊びのバランスが難しいこと。たくさん遊ぶ園で遊びを大事にしたいから遊びの準備もしたいけれど、保護者の目もあり見栄えをちょっと気にしなければいけないところもあり、そのために準備をしなければいけないというバランスが難しい。どちらも準備する時間が限られているので、困っている。

幼稚園 5年目: 一人担任で、一人でクラス全員を見なければいけない環境で、4歳になってやりたいことが一人一人出てきて、それをかなえてあげたい気持ちがあるが、でもやはり保育者が一人しかいないのと、時間も限られているので、「今日はこの子のやりたい思いがかなえられたけど、あの子のやりたい思いがかなえられなかったな」と、毎日悔しいなと思うことが多いこと。全員のやりたい思いをかなえたい私の思いと、現実的にそれがなかなか難しいなというところで、困っているというか苦しいなと思うところがある。

保育所 3年目: 大変な人員不足で、去年は1歳児クラス12人の子どもを2人の保育士で見て、そのときは全員、園長や主任も30分単位で動いていた。今もそんな感じで体制が整わない中で働いていて、自分のメンタルもだが、子どもにもっとこうしてあげたいのという思いがある中でやっていくのはすごくしんどいなと思う。大変なことのほうが今は多くて、ちょっとつらい。

幼稚園 3年目: 今まで先輩とかについて働いていたが、現在1年目の後輩と組んでいて、学年のこと、遠足や作品展、運動会などの行事を全て私が責任をもって進めていかなければいけない、3年目になって少し責任感のある仕事をやっていて、そこが今困っていたり大変なことが多いと感じていたりしている。

幼稚園 4年目: 4年目で、年少、年中、年長と担任を担当してきたが、なかなか慣れてきたなという実感が自分の中になくて、やはり一年一年、1歳違うごとにガラリと子どもの様子も違うし、やることももちろん違うので、なかなか難しい。

幼稚園 4年目: どんな子でも愛された子どもだから受け入れるという園の方針があり、大学で習った言葉で言うと「気になる子」だったり、支援の必要な子がクラスの3分の1いる状

態になっている。何人先生がいても手が足りず、子ども一人一人に合った支援が難しい。一人に手をかけていると、他の子にも手をかけてあげたいけどあげられないという差があり、悩んだこともあった。

幼稚園からで保育所、さらに別の保育所に勤務（6年目）：時間がないのも現実で、自分の生活の時間を切り詰めてやるのも続いていかないし、そこのやりくりも難しいし。保育園のいいところは、いろいろな職員がいるというところだが、当番も違ったり、なかなかゆったり話す時間が取れなかったり、連携の行き違いがあったり、コミュニケーションが取れなかったり、そういう時間のなさ、コミュニケーションの難しさで、自分の気持ちにゆとりがなくなると、子どもにゆったり関われなくなっていくという悪循環がある。家族も保育関係だが、「この子が遊べないんだよなあ」とこぼしたら、「いや、それ分かっているんだったら、かわいそうだよ。子どもが」と言われて反省したところ、というのが、今大変なこと。

認定こども園 6年目：年次が上がるにつれて自分の保育以外のことも見ていかなければいけない。研究主任であったり、部会の部長であったり。後輩の育成にもそろそろ関わってくるところで、自分がいっぱいいっぱいになっている場合ではない、という自覚はありつつ、でもそうもいかない自分、未熟な自分というもどかしさに、今すごく歯がゆさを感じている。ワークライフバランス（のインバランス）を大きく来して、日常生活が困難になって、仕事を一時休職したこともあるので、自分を追い詰めてはいけないと思いつつ、でも技量が足りないんだよなとずっとそこを悩みながら、今日も週案書かなければなと思いつつ、この場に参加している。

（2）保育職でよかったと思うことは？

幼稚園 6年目：子どもたちと通じ合えたな、一緒の方向を向けたなと思うときがとてうれしい気持ちになる。

卒業して7年目、一般企業から幼稚園に転職、働きながら産休・育休を経て復職：子どもの成長を間近で見られることはすごくうれしくて、ちょっと泣きそうになってしまうようなことがあったり。担任をもっていると保護者と直接共有できて感動を分かち合えるのは、とても楽しいというか、やっていたよかったな、頑張っていたよかったなと思う。

4年間児童館勤務後、保育所 1年目：泣いて、「おいで」と言っても「うわーん」と止まっていた子が、「おいで」と言うとタタタタッと来て、「痛かったよー」と来るといふ、子どもの育ちをみられること。

認定こども園の幼稚園 1年目：子どもたちの楽しい気持ちを一緒に共感したり、子どもたちと一緒に過ごしたりしていて、楽しいなと思うこともたくさんある。

幼稚園 1年目：子どもたちに「先生、大好きだよ」とか言われたり、子どもたちが笑って楽しく遊んでいたりする姿を見るのは、私自身もすごくうれしいなと思う。

幼稚園 1年目：子どもと過ごしていると「こんな活動があるんだ！」と驚かされたり、「なんでそんなことしているの？」って一緒に笑ったり。仕事として子どもと関わってはいるけれども、本当に心の底から笑ったり楽しめたりするのは保育職の魅力的なところかなと思

う。

保育所 2 年目：持ち上がりで 2 歳を担当しているが、ハイハイで入園してきた子が今や走り回って跳んではねて。成長を一番近くで見ることができる場所はすごく素敵だなと思っている。

保育所 5 年目：保護者に「おうちに帰ると、ずっと先生のことを話しているんですよ」と言ってもらえたり、子どもが目をまっすぐ見て「〇〇先生はね、僕の宝物なんだよ」と言ってくれたりしたのが、すごくうれしくて。誰かの大切な存在になれているんだなと思える仕事はなかなかないかなと思う。ストレートにうれしいことを言われて、保育士かだよったなと思う。

2 年間の幼稚園勤務から保育所で非常勤に転職 3 年目：今は支援が必要なお子さんに関わることが多いので、成長が見えにくい部分もある。それでも毎日毎日関わっていくことで、長いスパンで見るとやはり成長したなと感ぜられるのが、関わりを続けていてよかったなと感ぜられるところが、すごく保育職でよかったなと思う。

認定こども園 5 年目：正解がない仕事だけれども、こちらが考えて遊びを出したり関わったりする中で、特に遊びがヒットしたときはうれしい。ヒットしないことが悪いことでもないし、全部ヒットすることがいいことでもないのは分かっている。ヒットしていたらねらい通りに遊ばせている感じにもなってしまうと思うので。でも、正解がないからこそ、ヒットしたら自分が思っていたこと、感じていたこと、考えていたことが、やはりそうだったと、自信をもてる糧になる。保育をやっていてよかったなと思う点は、そういうところだと思う。

幼稚園 5 年目：4 歳のときに運動会や発表会でドキドキして人前に立つことが難しかったけれど、年長になったら人前に立つ場面ですごく生き生きして、私の関わりで成長が見られた瞬間は、やっていてとてもよかったなと思う。

保育所 3 年目：「子どもが可愛い」と思う気持ちがあるから頑張れていることもあって、そこはよかったなという気持ちがある。児童記録を書いているときに、子どもができなかったことができるようになったとか、目の前で起きたこと以外を書類にしたときに気づくことがたくさんあって、そういうときに、「ああ、やっていてよかったな」としみじみ思う。

幼稚園 3 年目：子どもたちが難しくてできなかったことができるようになって、それをすごくうれしそうに見せに来てくれる姿があり、そういう姿を見たときに保育職でよかったなと思う。年少から受け持って年中に上がっているのも、その子どもの成長をずっと見続けることができるのがすごく保育職のやりがいのある仕事だと思う。

幼稚園 4 年目：年少からずっと一緒にやってきた子どもたちが自分たちでどんどん遊びを作り出したり、自分たちで話し合いをやって解決ができたり。その中で葛藤もあつたりしながらもやろうとする姿が見られたとき、うれしく思い感動する。

幼稚園 4 年目：3 年間年少のクラスを見ていて、年中で持ち上がりのクラスを見ていて、その子たちが助けてくれるようになった。「先生、今、困っているよね。俺たちは分かるから、やっておいてあげるよ」とか、支援の必要だった子も「先生、僕ずっとこの場所にしか、決められた場所にしかいられなかったけど、こっちでもいられるようになったよ」と、でき

るよというのを、その一人一人の頑張りをすごく見ることができたのがよかったと思う。
特別区幼稚園からで社会福祉法人の保育所、現在は区立保育所に勤務（6年目）：保護者の人と朝「おはようございます」と言ったとき、「先生に会えたから、今日なんかいい一日になりそうです」と言われたことがあり、「私こそです」と思ったりもした。子どもとの関わり、保護者との関わりで温かい気持ちになれるというのは、やはりやってよかったと思う。
認定こども園6年目：学生時代に「保育職のいいところって、1日1回は子どもと一緒に大笑いができる職場だよ」という言葉を聞いて、はっとした。きっとパソソンに向き合う仕事だとなかなかできない、保育職のよいところだなと思っているので、必ず毎日少なくとも1回は子どもと一緒に腹の底から笑って、「ああ、楽しかった」という気持ちを、子どもと一緒に共有したいと思うことを心がけている。

（3）保育職を続けるために、必要な条件は？

幼稚園6年目：子どもたちが日々成長している、可愛いと思える気持ちが一番かなと思う。

卒業して7年目、一般企業から幼稚園に転職、働きながら産休・育休を経て復職：健康な心と体が必要だなと日々思っている。

4年間児童館勤務後、保育所1年目：「可愛い」とか「成長したな」と子どものことを思えるために、健康な心と体が絶対に必要だなと思う。

幼稚園1年目：自分自身がまずは健康であること。1年目だからかもしれないけれども、分からないことがあったときに、自分の中で勝手に解決しようと思うのではなくて、経験を積まれた先生方に相談したりすることで解決していくことが大切。今後も誰かに頼ることは続けていきたいなと思っている。

幼稚園1年目：むしろお聞きしたいというところが前提にはあるが、保育はチームで取り組んでいくものだなと考えているので、一人でためこまずに、何でも声に出して、頑張りすぎずに頑張ることが大事なのかなと思う。

保育所2年目：職場のチームワークのことも考えると、ちょっとしたことでも話せるような環境が必要なのかなと思う。

認定こども園2年目：一日の保育を振り返ったときに、今日こういうことを子どもに言ってしまったのかな。最近自分が忙しいというのもあって心の余裕がなくて、いつもと違う対応をしてしまったのかな。そういうところで悩んだりもするので、心の余裕と健康面は大切だなと思う。

保育所5年目：働く前（学生時代）に「保育士って子どもが好きだけじゃ、やっていけないんだよ」と何回か言われたことがあるが、やはりそれが一番大事かなと思う。「子どもが好きだ」という思いがあるからこそ、クラスの子たちに何ができるかな、こういう関わりができるかなと考えたりすると思うので。やはり「子どもが好き」というのが続けるための絶対条件なのかなと思う。

認定こども園5年目：5年間保育職を続けてこられたことを考えると、園の周りの人たちがいたからかなと思う。子どもの話をたくさんできる環境で、悩んだら聞いてくれる人がいた

り、自分の保育を褒めてくれる上の人も下の人もいたりするので、そういう環境が今続けられている条件になっているかなと思う。

幼稚園 5 年目：悩んだときにすぐ相談できる職場の環境や、給料、お金も大事だなと思う。

保育所 3 年目：体力や自分のメンタル面などもそうだが、やはりこんなにつらい中でも続けられているのは、園の人間関係がすごくいい、ということだと思う。園のなかで、周りの人、すぐに相談できたり何でも話せたり、部活みたいな、和気あいあいとした人たちが多く園なので、そういう環境がとても大事なのではないかなと思う。

幼稚園 3 年目：仕事とプライベートのメリハリを思いきりつけることだと思う。土日にも連絡帳やクラスだよりなど、平日で終わらずやらなければいけないことがあるが、やるときはやるけど遊ぶときは仕事を忘れて遊ぶようにして、精神を保ち続けていこうと思っている。

幼稚園 4 年目：子どものことで悩むことが多く大変だなと思うが、子どもが大切、もっとこの子のことを知りたいなという気持ちを忘れないことが大切なのかなと思う。

幼稚園 4 年目：保育職を続けるために大事だなと思うことは、「子どもが大好き」という気持ちと、子どもも自分を好きでいてくれるという実感。そういう気持ちを大事にしながら、自分もプライベートも息抜きも大切にしつつ、自分の大切にしたいものを決める、生活の基盤を整えていくことが大事かなと思う。

特別区幼稚園からで社会福祉法人の保育所、現在は区立保育所に勤務 (6 年目)：続けていくためには、私は 8 割で出すというのを信条としている。もともと完璧主義なところがあって、自分で自分を追い詰めるところがあるが、出せばまわりはいろいろと言ってくるので、8 割で出して、みんなの意見をまとめて、自分の負担は軽くしていこうというのを信条として、最近は進めている。

認定こども園 6 年目：最終的にセンスかなと思う。子どもの心を読み取るセンス、自分の生活と仕事に切り替えをつけていくセンス。いろいろなセンスがあると思う。この間の受けた研修で、「そういうセンスは周りと話していくことによって培われていくものだから、どんどん周りとコミュニケーションをとって、自分のセンスを磨いて、楽しい先生になりなさい」と言われたことを今でも心にとめおきながら、日々の保育を頑張っている。

参加者の感想には、7 割以上が参加して「よかった」とあり、満足度の高い時間であったと思われる。同年代の現役保育者と保育に対する悩みや苦労を共有できたことで、気が楽になり、安心できたことがうかがえた。「子どもが好き」「保護者の信頼を得ている」という保育職の魅力についての共通した発言が多くみられた一方で、「多岐にわたる職務内容」、「特別な配慮を必要とする子どもへの配慮の難しさ」、「職場の人間関係」、「私生活とのバランス」など、保育職の困難さについても共通した意見が挙げられていた。

3. 若手幼稚園教諭・保育士を対象としたキャリア形成に関する意識調査（ウェブ調査）

（1）調査の概要

本調査は、保育職の魅力向上や早期離職の防止等に資する基礎的情報を得るため、若手幼稚園教諭・保育士等にアンケート調査を実施し、仕事のやりがいや悩み、働きやすい環境、今後の就業の意向等を把握することを目的とした。

調査方法はインターネットを利用したウェブアンケート調査とし、調査期間は令和6年1月5日（金）～1月10日（水）の6日間とした。調査対象は、調査会社にモニター登録している若手幼稚園教諭・保育士とし、その条件として幼稚園教諭免許もしくは保育士資格を有しており、現在、幼稚園教諭・保育士として働いている20代の人とした。回答者は300人で、その内訳を性別で見ると、男子28人、女子269人、回答したくない3人となっており、現在の勤務年数を見ると、1年未満49人、1～3年目106人、4～6年目94人、7～9年目43人、10年以上8人となっていた。

主な調査内容は、「保育職を選んだ理由やきっかけ」「保育職のやりがいや悩み」「働きやすい環境づくり」「今後の就業の意向」「保育職の魅力を高める工夫や取組」等とした。

（2）主な調査結果

1）保育職を選んだ理由やきっかけ

ア．幼稚園教諭や保育士の仕事を選んだ理由

幼稚園教諭や保育士の仕事を選んだ理由について尋ねたところ、「子どもが好きだから」（65.7%）が最も高く、次いで「保育の仕事に興味があるから」（43.7%）、「憧れの職業だから」（31.0%）、「自分の性格に合っているから」（28.7%）等であった。

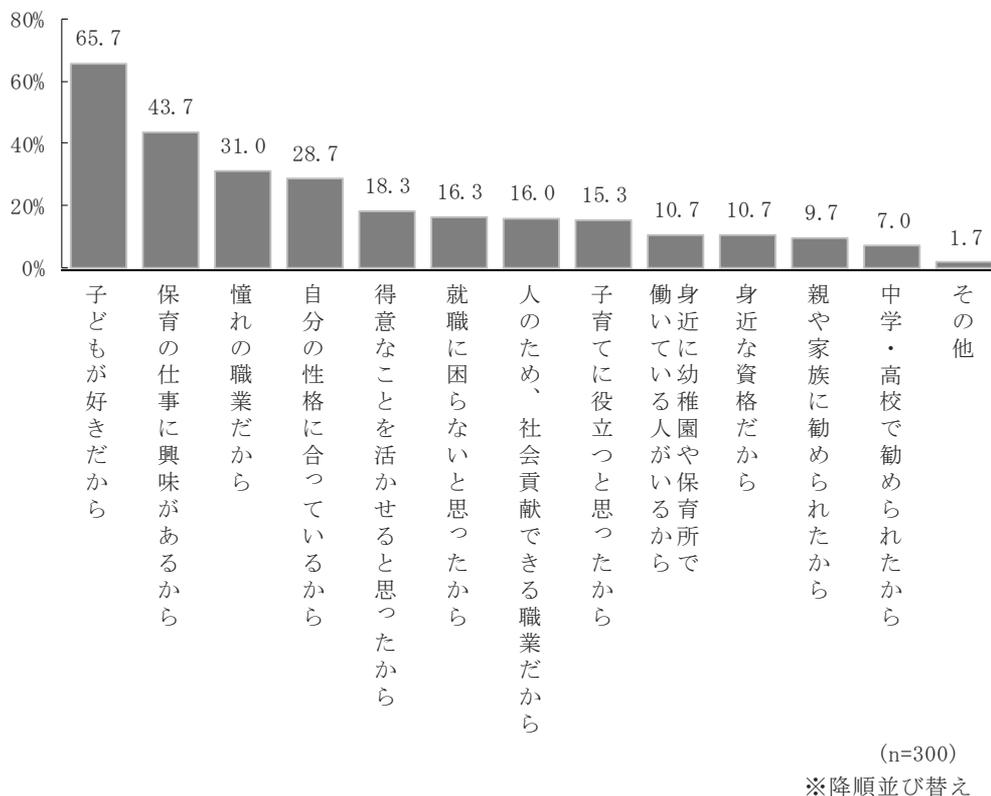
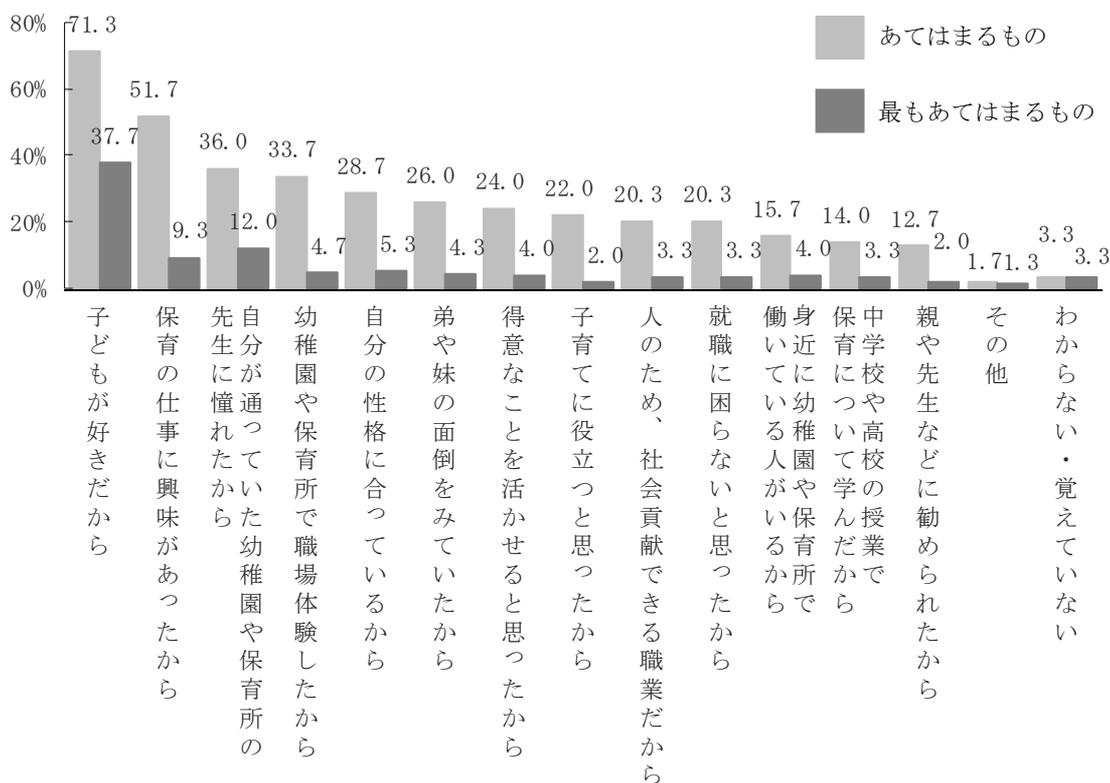


図 2.3.4 幼稚園教諭や保育士の仕事を選んだ理由（複数回答）

イ. 幼稚園や保育所の先生になりたいと思ったきっかけ

幼稚園や保育所の先生になりたいと思ったきっかけについて尋ねたところ、「子どもが好きだから」（71.3%）が最も高く、次いで「保育の仕事に興味があったから」（51.7%）、「自分が通っていた幼稚園や保育所の先生に憧れたから」（36.0%）、「幼稚園や保育所で職場体験したから」（33.7%）等であった。

そのうち、最もあてはまるきっかけをみると、「子どもが好きだから」（37.7%）が最も高く、次いで「自分が通っていた幼稚園や保育所の先生に憧れたから」（12.0%）、「保育の仕事に興味があったから」（9.3%）となっていた。



(n=300)

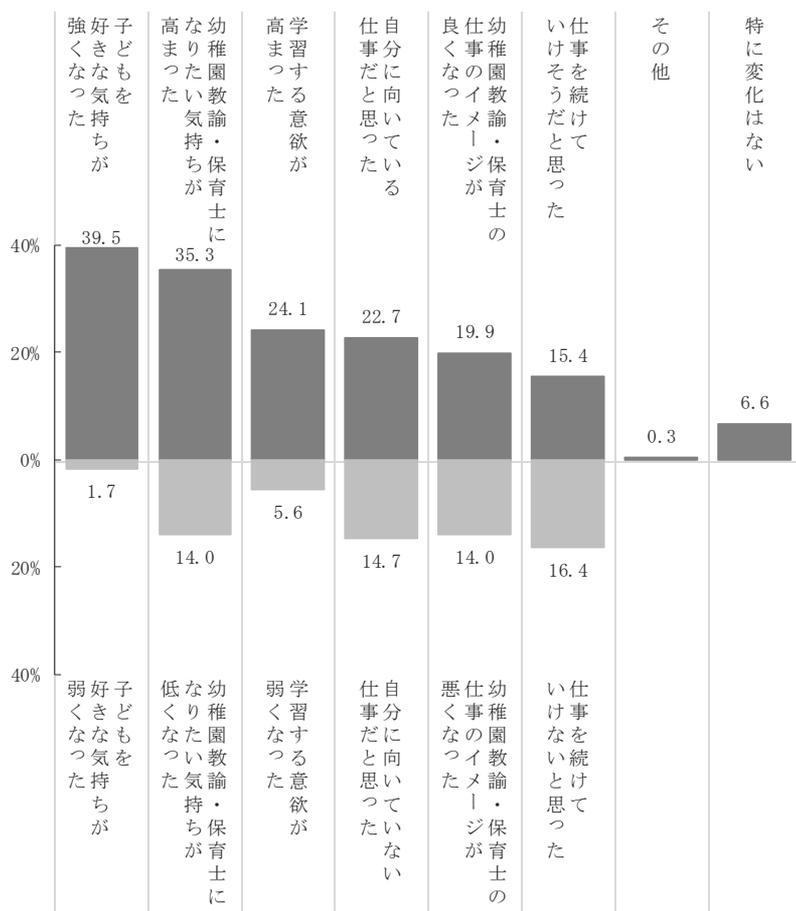
※「あてはまるもの」の値を基準に降順並び替え

図 2.3.5 幼稚園や保育所の先生になりたいと思ったきっかけ

ウ. 教育実習・保育実習に行ったあとの気持ちの変化

教育実習・保育実習に行ったあとの気持ちの変化について尋ねたところ、全体的にポジティブな項目の回答の割合が高くなっている。特に「子どもを好きな気持ちが強くなった」(39.5%)や「幼稚園教諭・保育士になりたい気持ちが高まった」(35.3%)は、他の項目に比べて高くなっていた。

一方、ネガティブ項目をみると、「仕事を続けていけないと思った」(16.4%)の割合が最も高く、「自分に向いていない仕事だと思った」(14.7%)、「幼稚園教諭・保育士になりたい気持ちが低くなった」(14.0%)、「幼稚園教諭・保育士の仕事のイメージが悪くなった」(14.0%)についても14%程度と高めであった。



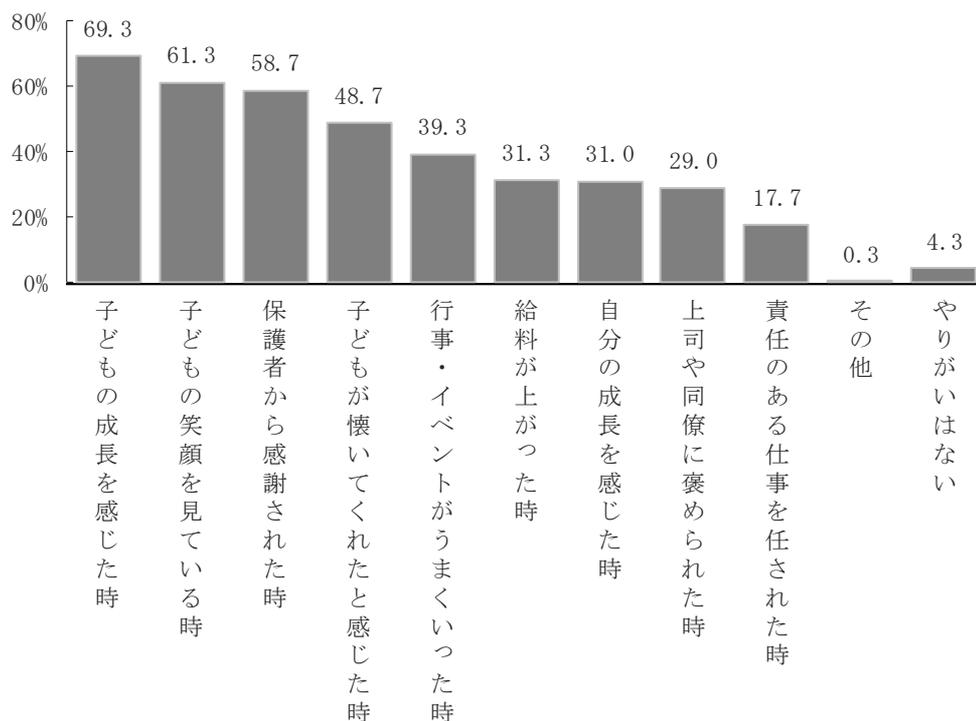
※ポジティブ項目の値を基準に降順並び替え

図 2.3.6 教育実習・保育実習に行ったあとの気持ちの変化（複数回答）

2) 保育職のやりがいや悩み

ア. 保育職にやりがいを感じる時

仕事をしていてやりがいを感じる時について尋ねたところ、「子どもの成長を感じた時」(69.3%)が最も高く、次いで「子どもの笑顔を見ている時」(61.3%)、「保護者から感謝された時」(58.7%)が6割前後となっていた。



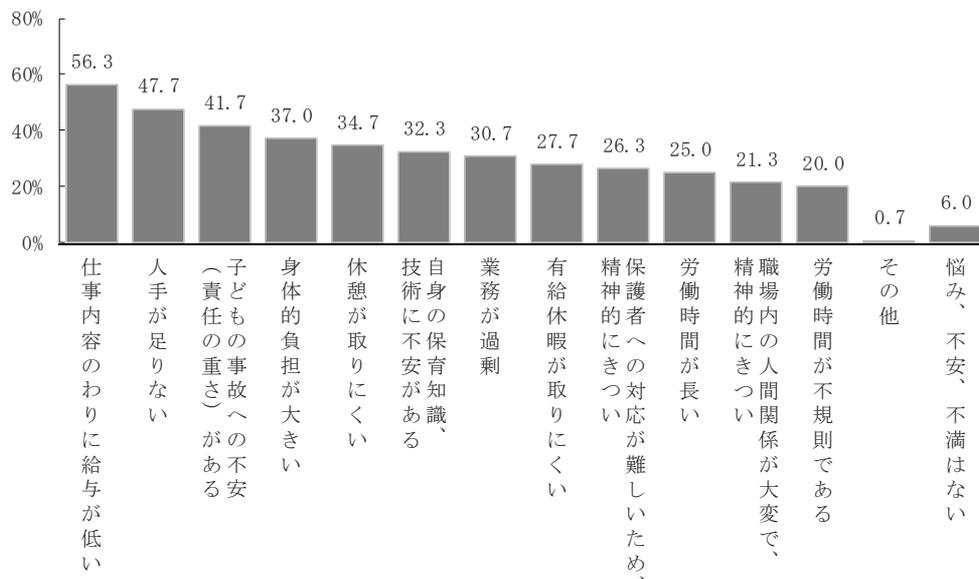
(n=300)

※降順並び替え

図 2.3.7 保育職にやりがいを感じる時 (複数回答)

イ. 仕事上の悩みや不安、不満

現在の職場で仕事上の悩みや不安、不満について尋ねたところ、「仕事内容のわりに給与が低い」(56.3%)で最も高く、次いで「人手が足りない」(47.7%)、「子どもの事故への不安(責任の重さ)がある」(41.7%)が4割台であった。



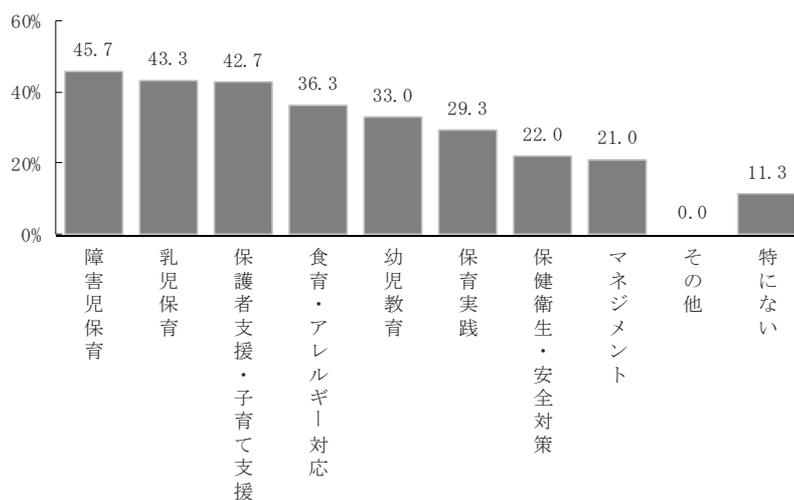
(n=300)

※降順並び替え

図 2.3.8 仕事上の悩みや不安、不満（複数回答）

ウ．今後学んでみたい・受けてみたい研修

今後、学んでみたい・受けてみたいと思う研修の内容について尋ねたところ、「障害児保育」（45.7%）、「乳児保育」（43.3%）、「保護者支援・子育て支援」（42.7%）が4割台で上位であった。



(n=300)

※降順並び替え

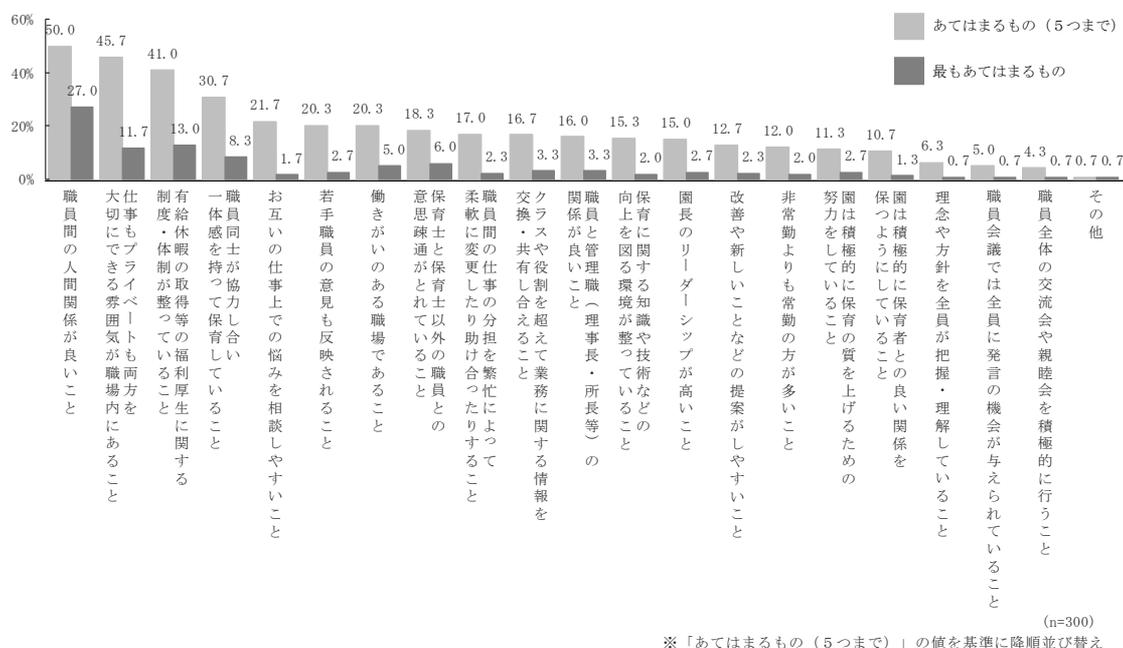
図 2.3.9 今後学んでみたい・受けてみたい研修（複数回答）

3) 働きやすい環境づくり

ア. 働き続けやすい職場風土・職場環境を作るうえで大切と思うこと

働き続けやすい職場風土・職場環境を作るうえで大切と思うことを5つまで尋ねたところ、「職員間の人間関係が良いこと」(50.0%)と最も高く、次いで「仕事もプライベートも両方を大切にできる雰囲気があること」(45.7%)、「有給休暇の取得等の福利厚生に関する制度・体制が整っていること」(41.0%)等であった。

そのうち、最もあてはまるものをみてみると、「職員間の人間関係が良いこと」(27.0%)が最も高く、次いで「有給休暇の取得等の福利厚生に関する制度・体制が整っていること」(13.0%)、「仕事もプライベートも両方を大切にできる雰囲気があること」(11.7%)となっていた。



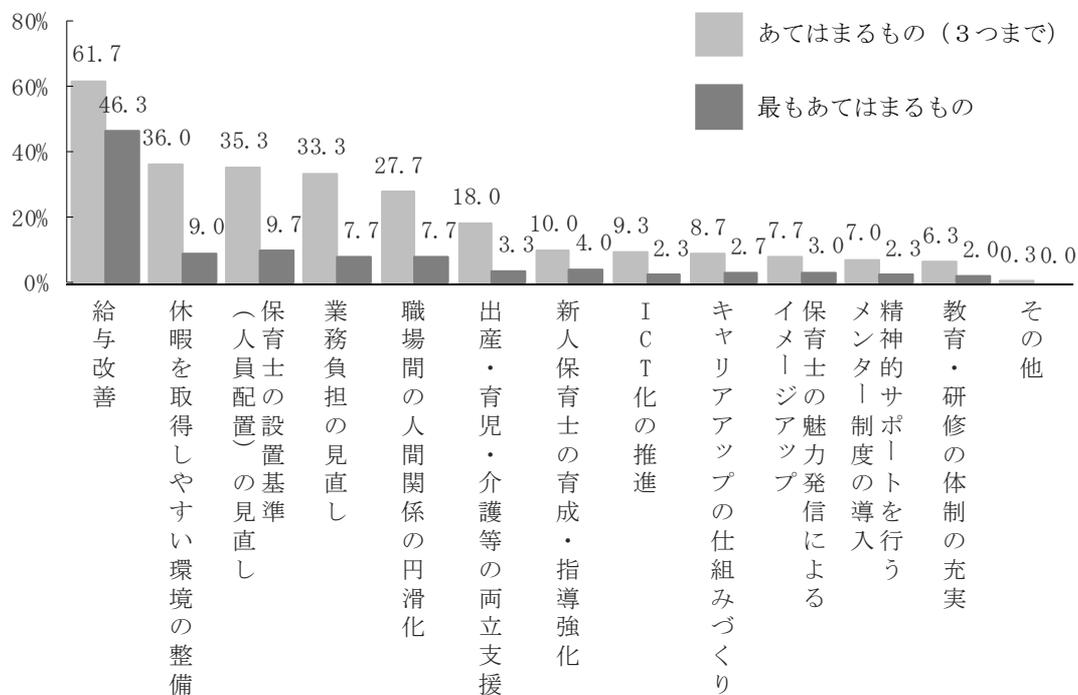
※「あてはまるもの(5つまで)」の値を基準に降順並び替え

図 2.3.10 働き続けやすい職場風土・職場環境を作るうえで大切と思うこと

イ. 保育士確保・定着のために必要と思うこと

保育士確保・定着のために必要と思うことを3つまで尋ねたところ、「給与改善」(61.7%)が最も高く、次いで「休暇を取得しやすい環境の整備」(36.0%)、「保育士の設置基準(人員配置)の見直し」(35.3%)、「業務負担の見直し」(33.3%)が3割台であった。

そのうち、最もあてはまるものをみると、「給与改善」が46.3%で最も高く、2位以下に35ポイント以上の差をつけている。その他、「保育士の設置基準(人員配置)の見直し」(9.7%)、「休暇を取得しやすい環境の整備」(9.0%)、「業務負担の見直し」(7.7%)、「職場間の人間関係の円滑化」(7.7%)が1割弱で続いている。



(n=300)

※「あてはまるもの(3つまで)」の値を基準に降順並び替え

図 2.3.11 保育士確保・定着のために必要と思うこと

4 今後の就業の意向

ア. 今後の就業意向

今後の就業意向を尋ねたところ、7割以上の保育者は「今後も保育士として働き続けたい」と回答したものの、「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」(21.3%)、「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」(6.7%)と退職の意向を示した保育者は合わせて3割弱となった。

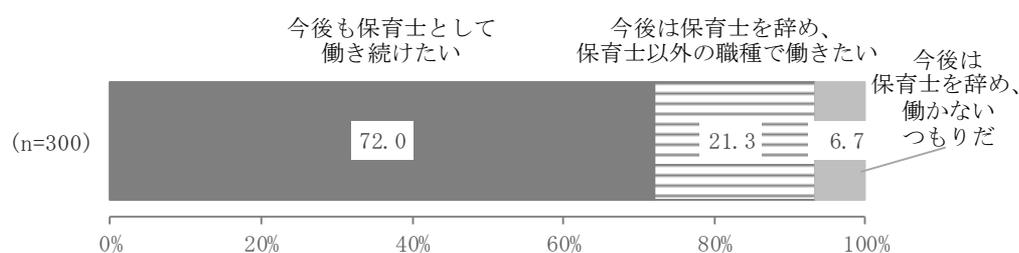


図 2.3.12 今後の就業意向

そこで、退職の意向を示した保育者に退職を希望する理由を尋ねたところ、「給料が安い」(52.4%)が半数超で最も高く、次いで「仕事量が多い」(35.7%)、「他業種への興味」(33.3%)となっていた。

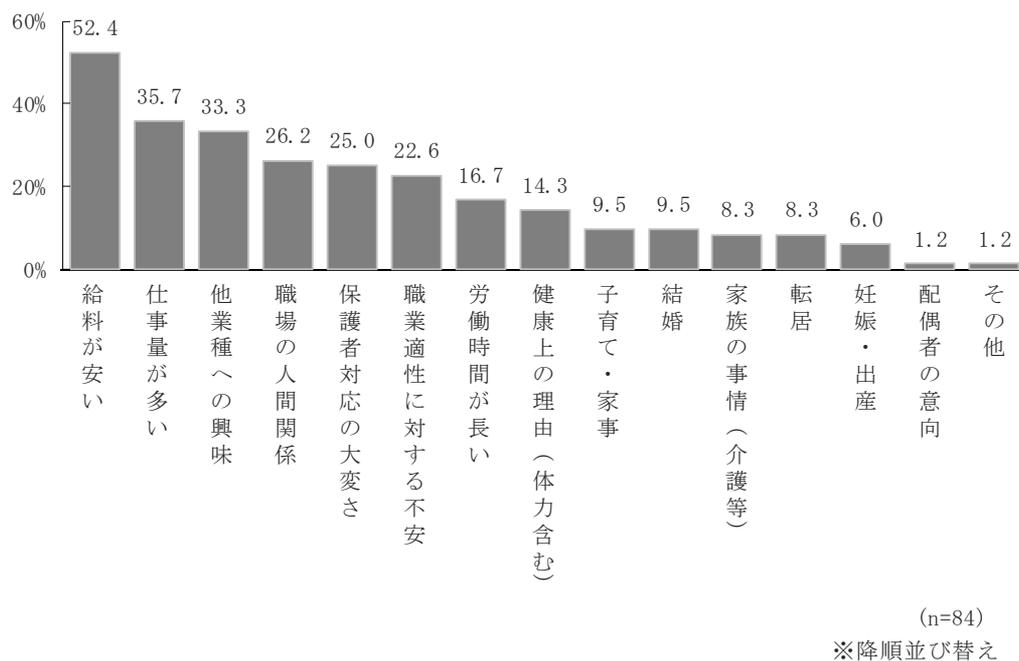


図 2.3.13 退職希望理由 (複数回答)

5) 保育職の魅力を高める工夫や取組

ア. 幼稚園教諭や保育士を目指す生徒を増やすために必要な取組

幼稚園教諭や保育士を目指す生徒や学生を増やすために今後必要な取組について尋ねたところ、「保育職の処遇改善（給与・職場環境等）」（64.0%）が最も高く、次いで「保育職の社会的地位の向上」（38.7%）が高くなっていた。また、「補助金による修学支援」（29.0%）、「実習・インターンシップ・職業体験の充実」（28.3%）、「幼稚園・保育所等の就職に係る情報提供や説明会の開催」（27.7%）も3割弱で続いている。

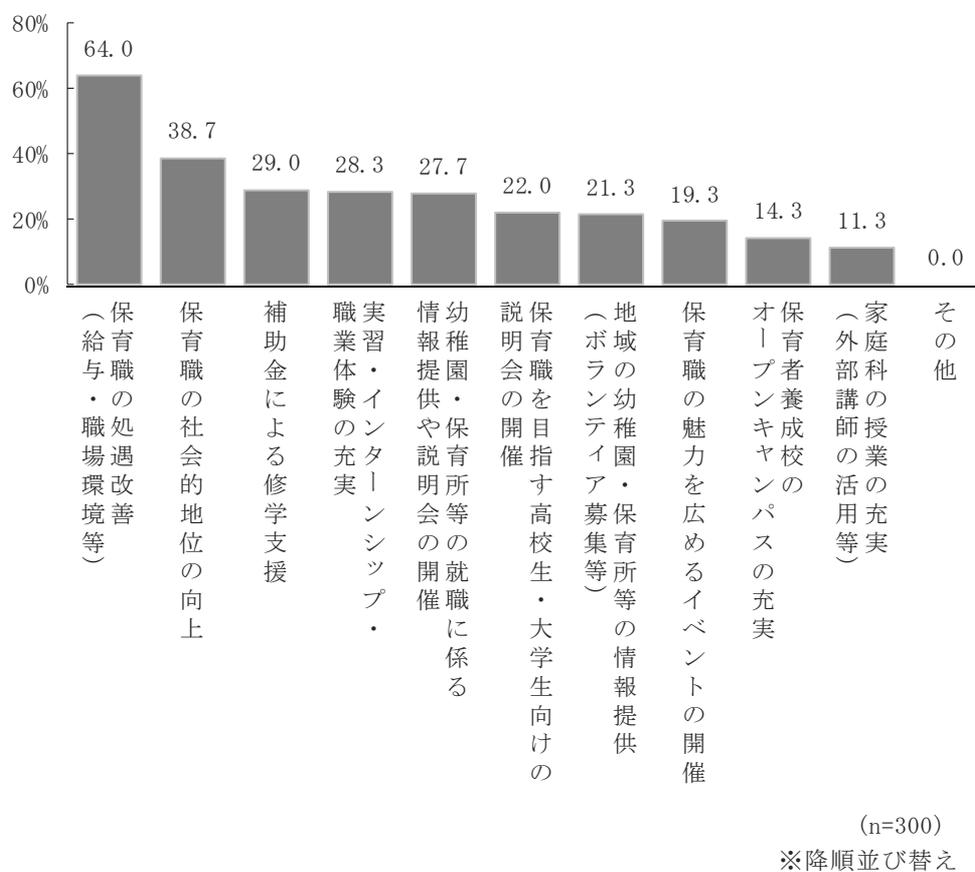


図 2.3.14 幼稚園教諭や保育士を目指す生徒を増やすために必要な取組（複数回答）

イ. 中学生や高校生に保育の仕事の魅力を伝えるために、国や教育委員会、学校などがすればいいことのアイディア

中学生や高校生に保育の仕事の魅力を伝えるために、国や教育委員会、学校などがどのようなことをすればいいのか、そのアイデアを自由記述で尋ねたところ、「給与の改善」と「交流会、イベント、ボランティアなどで子どもと関わる機会を増やすこと」に関する意見が特に多く見られた。また、「職場体験」「保育士の仕事の具体的な魅力の発信」「保育士の社会的地位の向上」に関する意見も多くみられた。

(主な自由記述)

○給与の改善

- ・SNSで挙げられているような、長時間労働や低賃金の問題を中高生は既に知っているの、その是正をするべき(女性、26歳、保育所)
- ・楽しくてやりがいもあり、身近で子どもたちの成長を感じられる、とても素敵な仕事であることは間違いない。命を預かる責任重大な仕事であるが給料が見合っておらず、とても安い。自信を持って周りに保育職を薦めることができないのが現状である(女性、27歳、保育所)
- ・給与改善、時間内勤務、残業代を支払うこと(女性、28歳、認定こども園)
- ・国が保育の仕事を軽んじているし、市区町村でも保育士を尊重していないことがよくないと思う。単純に処遇が改善されれば、増えるかと。(後略)(女性、27歳、保育所)
- ・私もそう思っていました、なりたい職業ランキングでは上位に入っている職業だと思われま。知名度も高い中でこれほど、職員不足なのは大変な職業の割に給与が低いことが一番な原因だと感じています。魅力は十分ある職業なので、そこがいちばん改善されたら就職率は上がると思います(女性、25歳、認定こども園)
- ・保育の職は給料が低いというイメージが世間に定着しているので、まずは給料を上げ、そのイメージを変える(女性、27歳、認定こども園)
- ・保育士になりたくても給与面で現実を見て諦め、一般企業に就職してしまう友人をたくさん見てきた。(現場にもよるが)仕事量と責任に対して給与が見合っていない現実を把握して処遇改善を実施しつつ福祉職の地

位向上がなされないことには学生も興味をもってくれないと思う。(後略)

(女性、26歳、保育所)

- 交流会、イベント、ボランティアなどで子どもと関わる機会を増やすこと
 - ・現役の保育士による講演や出前授業、また家庭科の授業で保育の分野で手作りおもちゃを持参して近隣の園との交流など。(女性、28歳、保育所)
 - ・子どもと触れ合う機会をたくさん作る(女性、21歳、保育所)
 - ・実際に園見学に行き、保育所や幼稚園の様子を見たり、保育教諭と子どもたちの関わりを見たりすることで、興味をもってもらう(女性、23歳、認定こども園)
 - ・実際に園に通う子どもたちと交流する機会を授業でもつこと。保育者の楽しい面はもちろん、大変な面も知る機会を作り、仕事内容を理解してもらうことで、子どもと接するだけではないことを知ってもらう(女性、28歳、認定こども園)
 - ・実習や職業体験という形ではなくても、近隣の園・学校同士で交流の機会を定期的に持つ(子ども同士触れ合ったりなど)(女性、29歳、認定こども園)
 - ・積極的に子どもたちと関われるボランティアを増やす(女性、24歳、保育所)
 - ・中学校の頃から、子どもや保護者に関することを学ぶ機会があったり、職場体験だけでなく、ボランティアなどで来てもらったりと、もっとたくさん保育所、幼稚園について知ってもらう機会を作る(女性、27歳、小規模保育事業所)
- 職場体験
 - ・わたしは中学、高校と保育現場での職場体験を経験しました。そこで感じた楽しい思いから、保育を学べる大学に進もうと思ったので、やはり子どもと関わる体験があるといいのではないかと思います(女性、24歳、認定こども園)
 - ・私の働いている職場では、地域の中学校の授業の一環として、職場体験や校外学習として園に訪問があります。そのような機会をより多くとってもらえると保育の仕事について伝えられるかなと思います(女性、28歳、認定こども園)

- ・職場体験をする機会を増やし、実際保育業とはどんなものかを体験してもらうこと（女性、29歳、幼稚園）

○保育士の仕事の具体的な魅力の発信

- ・まず、誰でもできると思われてる仕事のイメージを払拭する。今後インターネットやロボットに仕事を取られてしまう職業があると思うが、保育は絶対に人でないといけない職業である大切さを伝えていく（女性、26歳、保育所）
- ・保育の現場にいる保育士に保育士になって良かったことを聞いてそれをまとめたのを見てもらう（女性、21歳、幼稚園）
- ・連日、保育所や幼稚園での虐待報道が見られる。マイナスなイメージが大きい。プラスのイメージを持ってもらえるように具体的なエピソードトークでやりがいを伝えていけるとよい（女性、26歳、保育所）

○保育士の社会的地位の向上

- ・保育士の社会的地位を上げること。私立の保育所や幼稚園の福利厚生をよくしていくこと。人数配置を見直し、余裕をもって保育・教育ができるよう国が考え直すことがまずは第一だと思う（女性、28歳、保育所）
- ・国が保育士の存在意義をもっと高めるべき。今は保育士を明らかに下に見ているし、母性があれば誰でもできると思っている人もいまだにいる（女性、25歳、保育所）
- ・保育が子どもの成長の原点であることを政府が認識できるようになってほしい。その基盤ができることで、もっと保育に興味を持ってもらえる。子育て支援を国全体で行うべき（女性、28歳、認定こども園）

○その他

- ・普段の様子を動画で見れるようにする。（女性、22歳、幼稚園）
- ・配置基準の見直し（後略）（女性、26歳、保育所）
- ・（前略）家に持ち帰っての仕事を減らすべきだと思う（女性、26歳、保育所）

（3）まとめ

本調査の結果、保育職を選んだ理由やきっかけとして「子どもが好きだから」「保育の仕事に興味があるから」「憧れの職業だから」が多く挙げられていたが、3割強の保育者が保育職を選んだきっかけとして「職場体験」を挙げている。

のことから、保育者を志望するきっかけづくりとして、職場体験は有効な方法の一つであることが示唆された。

仕事をしていてやりがいを感じるタイミングについては、半数以上の保育者が「子どもの成長を感じた時」「子どもの笑顔を見ている時」「保護者から感謝された時」を挙げていた。このことから、自分自身の成長や達成感に関することよりも、子どもの成長や笑顔、保護者から感謝といったことのほうが仕事のやりがいにつながっている傾向にあることが分かった。一方、仕事上の悩みや不安、不満については、半数以上の保育者が「仕事内容のわりに給与が低い」を挙げており、「人手が足りない」「子どもの事故への不安（責任の重さ）がある」についても4割以上の保育者が悩みや不安として挙げていた。

今後の就業の意向については、7割強の保育者が「今後も保育士として働きたい」と回答したものの、3割弱の保育者は「今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい」「今後は保育士を辞め、働かないつもりだ」と退職の意向を示した。そこで、退職の理由について尋ねたところ、半数以上の保育者が「給料が安い」と回答していたほか、「仕事量が多い」「他職種への興味」「職場の人間関係」といったことも挙げられていた。

保育士確保・定着のために必要と思うについては、6割以上の保育者が「給与改善」を挙げており、その他、「休暇を取得しやすい環境の整備」「保育士の設置基準（人員配置）の見直し」「業務負担の見直し」といったことも挙げられていた。また、働き続けやすい職場風土・職場環境を作るうえで大切と思うことについて尋ねたところ、半数の保育者が「職員間の人間関係が良いこと」を挙げており、その他にも4割以上の保育者が「仕事もプライベートも両方を大切にできる雰囲気職場内にあること」「有給休暇の取得等の福利厚生に関する制度・体制が整っていること」を挙げていた。

つまり、夢をかなえ、保育職に就いたとしても、「給料が安い」「仕事量が多い」「職場の人間関係」の悩みや不満により、3割弱の若手保育者が退職や転職を考えている状況にあることが分かった。そこで、「仕事上の悩みや不安、不満」と「今後の就業の意向」のクロス集計を行ったところ、「有休休暇が取りにくい」「業務が過剰」「子どもの事故への不安（責任の重さ）がある」といった仕事上の悩みや不安が多い保育者ほど、退職の意向が強くなる傾向にあることが分かった。そのため、若手保育者の早期離職を防ぎ、定着を図るためには、給与や休

暇等の処遇や人手不足や休憩時間の少なさといった職場環境の改善が急務の課題であることが分かった。

今後、学んでみたい・受けてみたいと思う研修の内容について尋ねたところ、4割以上の保育者が「障害児保育」「乳児保育」「保護者支援・子育て支援」を挙げていた。昨今、障害児保育を実施する園や認定こども園に移行する幼稚園が増加するなか、障害児保育や乳児保育に関する知識や経験の不足は、若手保育者にとっては不安や悩みのもとにもなりやすい。3割以上の若手保育者が「自身の保育知識・技術に不安がある」と感じていることから、若手保育者の早期離職を防ぎ、定着を図るためにはニーズに応じた研修の充実も必要であると考えます。

幼稚園教諭や保育士を目指す生徒を増やすために必要と思う取組については、「保育職の処遇改善（給与・職場環境等）」や「保育職の社会的地位の向上」を挙げる保育者が多かったが、その他、「補助金による修学支援」「実習・インターンシップ・職業体験の充実」「幼稚園・保育所等の就職に係る情報提供や説明会の開催」も挙げられていた。そこで、中学生や高校生に保育職の魅力伝えるために、国や教育委員会、学校などがどのようなことをすればいいか、そのアイデアを尋ねたところ、「給与の改善」や「交流会、イベント、ボランティアなどで子どもと関わる機会を増やすこと」といった意見が多くみられた。

保育職の仕事内容自体には魅力があるという声も多いが、「仕事の大変さと給与が見合っていない」「保育職に給与が低いイメージがついている」「社会的地位が低い」といった声も多くみられた。以上のことから、今後、保育職を目指す高校生を増やしていくためには、保育職の「処遇改善」「社会的地位の向上」に取り組み、その状況を社会に広く発信していくことで保育職のイメージ改善や魅力向上を図るとともに、職場体験や保育者との交流会等の機会を通じて、保育士自身が実感している魅力を発信していくことが求められるのではないかと推察される。

4. 令和4年度卒業後の就業状況に関するアンケート調査

(1) 目的

本学卒業後、1年に満たない卒業生の実業状況を明らかにするために、就業状況に関するアンケート調査を実施した。保育職に就いている回答者を抽出し、保育職の魅力や困難さについてどのように感じているか把握するとともに、保育者養成校として在校生や卒業生に対し、どのような支援を行う必要があるのか検討する。

(2) 方法

- 1) 調査対象者 本学子ども支援学科の令和5年度の卒業生
- 2) 調査項目 職種等の他、仕事について「よかったと思うこと」「やりがい」「困っていること」「続けていくために必要なこと」「受けてみたい研修」などを尋ねた。
- 3) 手続き 教員から卒業生にウェブによるアンケート調査への回答を求めた。
- 4) 調査期間 令和5年12月1～31日

(3) 結果

1) 回答数

回答者数は40名で、うち卒業後、就職した者は39名、未就職者は1名であった。

2) 就業状況

就職した39名の内訳は、幼稚園13名、保育所8名、認定こども園2名、施設（幼稚園、保育所、施設を除く）2名、公務員（幼稚園、保育所、認定こども園を除く）3名、一般企業10名、飲食業1名であった。退職者のうち転職した者は2名で、保育所から一般企業へ（理由：回答なし）、幼稚園から他の幼稚園へ（3年後閉園すると聞いたため）であった。

3) 保育職の魅力と困難さ

保育職の魅力や困難さについて把握するために、幼稚園、保育所等の勤務者に「今の仕事をしてよかったと思うこと」「今の仕事のやりがい」「今の仕事で困っていることや苦勞したこと」「今の仕事を続けていくために必要なこと」「受けてみたい研修」について尋ねた。その結果の主な回答は以下の通りであった。

今の仕事をしてよかったと思うこと

- ・子どもに「先生だいすき」と言われたとき
- ・毎日心の底から笑えること！子どもからたくさん愛をもらえること
- ・子どもたちの成長に寄り添うことができていること
- ・保護者に感謝されたとき

今の仕事のやりがい

- ・1日1回は子どもと大笑いできること
- ・子どもたちが日々成長しているなど肌で感じるができること
- ・保護者や子どもに感謝してもらえること
- ・その子にとって自分が頼ってもらえたり、安心を感じる存在であると実感したとき
- ・誰かの大切な存在になれること

今の仕事で困っていることや苦勞したこと

- ・自分の時間と仕事の時間のバランスをとること
- ・事務に追われ、気持ちの余裕がない
- ・業務が多いと感じること（保育の準備、週案や行事、掲示物の作成、会議など。保護者へ伝えなければならないことも毎日のようにある）
- ・配慮が必要な子への対応

今の仕事を続けていくために必要なこと

- ・子どもを好きでいる気持ち
- ・しっかりと休息して仕事に臨むこと
- ・体力と精神力。吸収力も必要
- ・悩んだときになんでも話すことができる職場環境
- ・保育者同士も保護者ともコミュニケーションをとること

受けてみたい研修

- ・特別支援の子どもの援助について
- ・子どもの引きつけ方
- ・ストレスとの向き合い方
- ・幼保小合同での研修、他校種の先生方と意見交換
- ・他園の保育の視察

(4) 結果を振り返って

就職後1年に満たずに退職・転職している者が2名おり、そのうちの1名が、「就職した園が3年後に閉園する」ことを理由として回答している。少子化が進む中、すでに自治体によっては公立園の閉園を念頭に保育者の事務職への配置換えが行われていることから、公私立ともに閉園等を理由に退職、転職することが増える可能性が考えられる。

「今の仕事をしてよかったこと」「今の仕事のやりがい」の問いについては、「子どもが好き」という気持ちや「保護者からの感謝」など、保育職の魅力として考えられる回答が特徴的であった。「今の仕事で困っていることや苦勞したこと」については、「仕事が多岐にわたり心の余裕がもてなくなっている」ことや、「特別な配慮が必要な子どもへの対応の難しさ」などが挙げられていた。保育職を継続していくためには、「子どもを好きだと思ふ気持ち」や「相談できる職場環境」、「仕事と自分の生活のバランス」など、保育者の魅力と困難さを踏まえた回答となっていた。「受けてみたい研修」については、困難さに通じると思われる「特別支援の子どもへの援助」や「ストレスとの向き合い方」などが挙げられる一方で、「他園視察」や「幼小合同や他校種との研修や交流」といった、保育者として学び続けたいという専門職としての意識が感じられる回答がみられた。これらの結果から、保育者養成校の学生には早い時期から保育現場で子どもと触れ合い「子どもが好き」と実感できる機会を設けることや、卒業後も教員や同窓生と交流できる機会を設けるなどの支援の有効性が考えられた。

第3章 総括

第2章では「幼児教育のプロフェッショナルリズム育成プログラムの開発」の3本の柱
Ⅰ．高校生を対象とした職の魅力発信、Ⅱ．養成校生を対象としたキャリア形成支援、
Ⅲ．現職教諭・離職者等を対象としたキャリア形成支援についての調査結果を概観した。
研究開始から報告書作成まで半年しかなく、紙面と時間の制約上、十分に調査結果をまとめきれなかった点は、ご協力をいただいた皆様にお詫び申し上げたい。今後、様々な研究発表や広報を通して、本プロジェクトの成果を広く開陳していくことをお約束することでご寛恕いただけたら幸いである。

とはいえ本プロジェクトでは、現在志願者が減少の一途をたどる危機的状況の保育者養成課程の抜本的な入り口対策、質の高い保育者を養成するカリキュラムのあり方、そしてその後の保育者のキャリアラダーを再考する上で、多くの示唆を得ることができた。

高校生を対象とした取組では、養成校の教員が高校に出向くことで、高校生の進路に関するリアルな声を聴くことができた。また、オープンキャンパスでは、進路に悩む高校生と保護者の不安と期待が感じられた。直接保育職に就かなくとも、将来子どもを育む親やそれを支える地域社会の一員となる若者たちが、保育や子どもの面白さを知ることで、子どもを見つめる目や子育てする親に向けるまなざしが変わることは、少子化対策にも貢献するのではないかと、体験授業やオープンキャンパス後の高校生の言葉から実感した。また、養成校生対象の取組では、実習や就職についての悩みを相談する際に、学生と年齢やキャリアの懸け離れた教員より、ちょっとした不安を等身大で共感してくれるOBOGの現職保育者の存在が、安心と憧れを生み出し、保育職への魅力を再認識したり、OBOGのような保育者になりたいという強い思いを喚起したりする様子うかがえた。そして、現職教諭を対象とした取組においては、養成校生に出会ったことで保育職に憧れていた初心を思い出し、憧れの対象となった現在の自分の生き方に誇りを持ち、現職研修で学び直したり、同じ悩みを共有する仲間と語り合えたりする時間が、日々業務に追われ振り返ることのなかった保育の価値と仕事の魅力を見つめ直すきっかけになってくれたであろう。

超少子化の波の中で、保育者養成にとどまらず教員養成課程ゆくゆくは他業種にも訪れるであろう質の高い人材の不足する時代に、職の魅力を進路指導から養成、キャリア形成まで耕し、つなげて、支えていく「プロフェッショナルリズム育成プログラムの開発」の研究成果が、これからの社会に必ずや貢献するものと信じてやまない。

資料 1. 調査票

1. 高校生の保育職に対する意識調査

高校生の保育職に対する意識調査

この調査は、高校生を対象とした職の魅力発信として、本学教員による幼児教育の重要性、保育職の魅力、進路選択に役立つ情報提供に関する体験授業を行い、受講者の理解度、興味の変化、今後のニーズ等の分析から、保育職の魅力向上のための要素および課題を明らかにすることを目的としています。本調査の結果は研究以外の目的には使用いたしません。回答は全て統計的に処理され、回答者の個人情報公表されることは一切ありません。また回答がない場合でも不利益を被ることはありません。回答の所要時間は約 10 分間です。回答に正答はありませんので、思いつくままにご回答下さい。この回答用紙のご提出をもって調査へのご協力の同意が得られたものとします。ご回答いただけますよう、ご協力お願いいたします。

お問い合わせ先 国学院大学人間開発学部子ども支援学科
吉永安里 asato_y@kokugakuin.ac.jp

I. あなた自身についてお尋ねします。当てはまるものに○を付けてください。

- あなたの性別についてお答えください。
①男性 ②女性 ③回答したくない
- あなたの学年についてお答えください。
①1年生 ②2年生 ③3年生
- あなたが考えている卒業後の進路についてお答えください。
①進学(4.ハ) ②就職(6.ハ) ③決めていない(6.ハ)
- あなたが進学を希望する学部について、当てはまるものすべてについて○を付けてください。
①学校教育分野 ②保育・幼児教育関係 ③家政学分野 ④法・政治、経済・経営・商学分野
⑤人文分野(文、史、文化、哲・心理学等) ⑥社会学分野(社会、国際、福祉・環境学等)
⑦医、薬、保健分野 ⑧理工分野(理、工、情報、農学分野等) ⑨芸術分野
⑩スポーツ・健康科学分野 ⑪その他()
- あなたが進学先(学部学科)を決めるときに重視することについて、次の①～⑫の項目から優先順位の高い項目を3つを選んで番号に○をつけてください。
①学べること、カリキュラム ②取得できる免許や資格 ③学力・偏差値 ④入試制度
⑤学費・奨学金・留学制度 ⑥就職先、就職率 ⑦校風やキャンパスの雰囲気
⑧施設・設備・交通の便 ⑨大学教員のプロフィール、教員の充実 ⑩部活やサークル
⑪他者のすすめ(家族、高校の先生・塾の先生など) ⑫その他()
- あなたは中学生以降に、幼稚園や保育園の先生の働く姿を実際に見た経験がありますか？
①ある ②ない ③わからない
→「①ある」の方は()内にどのような経験か教えて下さい。例：中2の保育所職場体験、など
()
- 高校卒業後、保育所や児童養護施設などの社会福祉士施設で、2年間勤務すれば、大学や短期大学、専門学校などに通わなくても、保育士の国家試験を受けることができることを知っていますか？
①知っている ②知らない ③わからない

8. あなたは、保育という仕事に対して、どのようなイメージをもっていますか？当てはまるものすべてについて○を付けてください。

- ①やりがいがある ②楽しい ③子どもの成長を支える ④子育てのプロ
⑤専門的な知識・技術を必要とする ⑥責任が重い ⑦社会的に重なる仕事
⑧子どもが好きでないと務まらない ⑨残業が多い ⑩保護者を支える ⑪賃金が低い
⑫人間関係が難しい

II. 体験授業を受けた感想についてお尋ねします。当てはまるものに○を付けてください。

1. あなたは体験授業を受けて、子どもや子育てについて興味や関心が深まりましたか？
① 深まった ②少し深まった ③あまり変わらない ④変わらない
2. あなたは体験授業を受けて、保育職（幼稚園や保育園の先生）のイメージは変わりましたか？
①変わった ②少し変わった ③あまり変わらない ④全く変わらない
3. あなたは体験授業を受けて、保育職（幼稚園や保育園の先生）に興味や関心が深まりましたか？
① 深まった ②少し深まった ③あまり変わらない ④変わらない
4. あなたは体験授業を受けて、保育・幼児教育系の学部学科の教育内容に興味や関心が深まりましたか？
① 深まった ②少し深まった ③あまり変わらない ④変わらない
5. あなたは体験授業を受けて、保育・幼児教育系の学部学科を進学先として考えたいと思いましたか？
① そう思う ②少しそう思う ③あまり思わない ④思わない ⑤わからない
6. 今回の体験授業を受講していかがでしたか。
(1) 体験授業について（当てはまるものに○を付けてください）
①関心をもった ②少し関心をもった ③あまり関心をもたなかった ④関心なし

(2) 感想を自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

2. 高校生を対象とした保育職に対する意識調査（ウェブ調査）

◆スクリーニング調査

SC1

あなたの性別についてお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 回答したくない

SC2

あなたは現在学校に通っていますか。通っている場合は、学校の種類をお答えください。

- 1 高校(全日制)
- 2 高校(定時制)
- 3 高校(通信制)
- 4 高等専門学校
- 5 その他
- 6 学校には通っていない

SC3

あなたの学年についてお答えください。

- 1 1年生
- 2 2年生
- 3 3年生
- 4 その他

1

◆本調査

Q1

あなたが考えている卒業後の進路についてお答えください。

- 1 進学
- 2 就職
- 3 決めていない

Q2

あなたが進学を希望する学部について、あてはまるものすべてを選んでください。
(いくつでも)

- 1 学校教育分野
- 2 保育・幼児教育関係
- 3 家政学分野
- 4 法、政治、経済、経営、経営・商学分野
- 5 人文分野(文、史、文化、哲、心理学等)
- 6 社会学分野(社会、国際、福祉・健康等)
- 7 医、薬、保健学分野
- 8 理工学分野(理、工、情報、農学等)
- 9 芸術分野
- 10 スポーツ・健康科学分野
- 11 その他
- 12 わからない

2

Q3

あなたが進学先(学部学科)を決めるときに重視することについて、次の項目の中から優先度の高い項目をもつまで選んでください。
また、その中で最もあてはまるものを選びください。

1	2	最 高
あ て は ま る も の	1	10
あ て は ま る も の	2	20
あ て は ま る も の	3	30
あ て は ま る も の	4	40
あ て は ま る も の	5	50
あ て は ま る も の	6	60
あ て は ま る も の	7	70
あ て は ま る も の	8	80
あ て は ま る も の	9	90
あ て は ま る も の	10	100
あ て は ま る も の	11	110
あ て は ま る も の	12	120
あ て は ま る も の	13	130
あ て は ま る も の	14	140
あ て は ま る も の	15	150
あ て は ま る も の	16	160
あ て は ま る も の	17	170
あ て は ま る も の	18	180
あ て は ま る も の	19	190
あ て は ま る も の	20	200
あ て は ま る も の	21	210
あ て は ま る も の	22	220
あ て は ま る も の	23	230
あ て は ま る も の	24	240
あ て は ま る も の	25	250
あ て は ま る も の	26	260
あ て は ま る も の	27	270
あ て は ま る も の	28	280
あ て は ま る も の	29	290
あ て は ま る も の	30	300
あ て は ま る も の	31	310
あ て は ま る も の	32	320
あ て は ま る も の	33	330
あ て は ま る も の	34	340
あ て は ま る も の	35	350
あ て は ま る も の	36	360

Q4

あなたが学びたいと思う職業についてお答えください。
複数の職業が並べられている場合は、最も希望者が多い職業をひとつお答えください。

- 1 ○ 会社員
- 2 ○ 公務員
- 3 ○ 学校の教師
- 4 ○ 農林士・獣医師・獣医
- 5 ○ 学者・記者
- 6 ○ 社会福祉士・介護福祉士・福祉士・福祉士
- 7 ○ 弁護士・検事
- 8 ○ 会社員・管理職・行政書士
- 9 ○ 医師・看護師
- 10 ○ 調理師
- 11 ○ 建築師
- 12 ○ 船舶乗組員・船長・船医
- 13 ○ 管理職・会社員
- 14 ○ 経営者・コンサルタント
- 15 ○ 公務員・警察官
- 16 ○ 建築士・大工
- 17 ○ 美容師
- 18 ○ 調理師(中華・和食)
- 19 ○ パイロット・キャビンアテンダント
- 20 ○ 調理師(和食・洋食・製菓)
- 21 ○ エンジニア・プログラマー・IT関係
- 22 ○ ネット配信者・ユーチューバー
- 23 ○ 漫画家・イラストレーター
- 24 ○ 俳優・女優・アイドル・モデル
- 25 ○ ミュージシャン・音楽家
- 26 ○ ジャーナリスト・アナウンサー
- 27 ○ フリースタイル選手
- 28 ○ 翻訳・通訳・通訳
- 29 ○ コック・調理師・パティシエ
- 30 ○ 理髪師・美容師・ヘアデザイナー
- 31 ○ 彫刻家・作家・漫画家
- 32 ○ 音楽家・演奏者・音楽家
- 33 ○ 放送作家・脚本家
- 34 ○ 美容師・美容師
- 35 ○ その他
- 36 ○ わからない

05
あなたが職業を選ぶときに重視することについて、次の項目の中から優先順位の高い項目を3つまで選んでください。
また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

	1	2
収入の差	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2
労働時間	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2
通勤しやすさ(バスや交通の便など)	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
仕事内容	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
会社の雰囲気	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
仕事の社会的意義	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7
事業や業種の安定性	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8
将来性	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
資格や特定の知識、技能	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 10
専門的な知識や技能を高めること	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 11
能力を高める機会があること	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 12
生活に合う/個性を活かせること	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 13
その他	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 14

1 2
 3 4
 5 6
 7 8
 9 10
 11 12
 13 14

5

06
あなたが、選定について考えたり決めたりする際、主に影響を受けているのは次のうちどれですか。次の項目の中からあてはまるものを3つまで選んでください。
また、その中で最もあてはまるものをお選びください。

	1	2
親(保護者)	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2
きょうだい	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3
親(保護者)やきょうだい以外の親族	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
学校の先生	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
先輩	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
友達	<input type="checkbox"/> 6	<input type="checkbox"/> 7
新聞・雑誌	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8
テレビ	<input type="checkbox"/> 8	<input type="checkbox"/> 9
インターネットやSNS	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 10
著名人	<input type="checkbox"/> 10	<input type="checkbox"/> 11
その他	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 12
特に他人などには影響されない	<input type="checkbox"/> 12	<input type="checkbox"/> 13

1 2
 3 4
 5 6
 7 8
 9 10
 11 12
 13

6

07 あなたは、中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を実際に見た経験がありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

Q7_1

中学生以降に、幼稚園や保育所の先生の働く姿を実際に見た経験がある方にお伺いします。どのような経験を教えてください。
(例:中2の保育所課外体験、など)

Q8 あなたは、学校の職場体験で、幼稚園や保育所に行ったことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない

Q8_1_1

幼稚園や保育所での職場体験の感想を教えてください。

- 1 よかった
- 2 まあよかった
- 3 あまりよくなかった
- 4 よくなかった
- 5 おぼえていない

Q8_1_2

あなたは先ほど、幼稚園や保育所での職場体験の感想について、【○○○(Q8_1_1)回答テキスト(再掲)】とお答えになりました。その理由を教えてください。

09 中学校や高校の家庭科で受けた授業のうち、保育や子育てに関する授業の印象を教えてください。

- 1 楽しかった
- 2 まあ楽しかった
- 3 あまり楽しくなかった
- 4 楽しくなかった
- 5 おぼえていない

Q9_1

あなたは先ほど、保育や子育てに関する授業の印象について、【○○○(Q9)回答テキスト(再掲)】とお答えになりました。その理由を教えてください。

Q10

学校の授業以外で、保育や子育てについて調べたり、話を聞いたりする機会がありましたか。

- 1 よくあった
- 2 少しあった
- 3 なかった
- 4 おぼえていない

Q11

あなたは、保育という仕事に対してどのようなイメージをもっていますか。
次の項目の中からあてはまるものを選んでください。(いくつでも)
また、その中で最もあてはまるものをお選びください。(ひとつだけ)

	1	2
やりがいがある	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2
楽しい	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
子どもの成長を支える	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
子育てのプロ	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8
専門的な知識・技能を必要とする	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 10
責任が重い	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 12
社会的に重要な仕事	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 14
子どもが貯まるとないと稼げない	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 16
残業が多い	<input type="checkbox"/> 17	<input type="checkbox"/> 18
保護者を支える	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 20
資金が安い	<input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 22
人間関係が難しい	<input type="checkbox"/> 23	<input type="checkbox"/> 24
この中にはひとつもない	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 26
あてはまるものを選んでください	<input type="checkbox"/> 27	<input type="checkbox"/> 28
最もあてはまるものを選んでください	<input type="checkbox"/> 29	<input type="checkbox"/> 30

Q12

あなたは、保育の仕事に興味や関心がありますか。

- 1 ある
- 2 少しある
- 3 あまりない
- 4 ない

Q13

あなたは、将来、幼稚園や保育所の先生になりたいと思いますか。

- 1 思う
- 2 少し思う
- 3 あまり思わない
- 4 思わない

Q13_1_1

あなたは先ほど、将来幼稚園や保育所の先生になりたいと思うかについて、
【○○○Q13(回答テキスト再掲)】とお答えになりました。

その回答について、次の項目の中からあてはまるものを選んでください。
(いくつでも)

- 1 子どもが好きだから
- 2 保育の仕事に興味があるから
- 3 得意なことを活かせると思ったから
- 4 憧れの職業だから
- 5 自分の性格に合っているから
- 6 子育てに役立つと思ったから
- 7 人のため、社会貢献できる職業だから
- 8 身近に幼稚園や保育所で働いている人がいるから
- 9 親や家族に勧められたから
- 10 就職に困らないと思ったから
- 11 中学、高校で勧められたから
- 12 身近な友達だから
- 13 その他 []

015

幼稚園・教諭や保育士を目標とする生徒を増やすためには、今後どのような取組が必要になると思いますか。

次の項目の中からあてはまると思うものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 補助金による修学支援
- 2 保育職の処遇改善(給与・職場環境等)
- 3 保育職の社会的地位の向上
- 4 実習・インターンシップ・職業体験の充実
- 5 新卒科の卒業の支援(外部講師の活用等)
- 6 保育者養成校のオープンキャンパスの充実
- 7 保育職の魅力を広めるイベントの開催
- 8 保育職を目標とする高校生・大学生向けの説明会の開催
- 9 地域の幼稚園・保育所等の情報提供(ポランチャリア等連携)
- 10 幼稚園・保育所等の就職に係る情報提供や説明会の開催
- 11 その他

016

幼稚園・教諭や保育士を増やすためには、中学生や高校生に保育の仕事に興味を持ってもらうことが大切だと考えています。

中学生や高校生に保育の仕事の魅力を伝えるためには、国や教育委員会、学校などがどのようなことをすればいいと思いますか。

あなたのアイデアを自由にお聞かせください。

017

あなたの普段の考え方や態度としてあてはまるものをそれぞれお選びください。

(それぞれひとつずつ)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| あ | よ | あ | よ |
| や | ら | あ | ら |
| あ | あ | あ | あ |
| ま | ま | ま | ま |
| る | る | る | る |
| | | え | え |
| | | い | い |
| | | な | な |
| | | い | い |



- 1 新しい人とすぐに仲良くなる事ができるほうだ 1 2 3 4 5
- 2 人に何かを教える事が好きだ 1 2 3 4 5
- 3 計画的に物事を進めることが得意だ 1 2 3 4 5
- 4 大人数で物事を進めるときは平先して意見を述べるほうだ 1 2 3 4 5
- 5 ここでは必ず「あまりあてはまらない」を選んでください 1 2 3 4 5
- 6 外向的で社交的な性格だ 1 2 3 4 5
- 7 責任感が強いほうだ 1 2 3 4 5
- 8 細かいことに気を配るのが得意なほうだ 1 2 3 4 5

3. 若手幼稚園教諭・保育士を対象としたキャリア形成に関する意識調査（ウェブ調査）

◆スクリーニング調査

SC1

あなたの年齢についてお答えください。

- 1 19歳以下
- 2 20歳
- 3 21歳
- 4 22歳
- 5 23歳
- 6 24歳
- 7 25歳
- 8 26歳
- 9 27歳
- 10 28歳
- 11 29歳
- 12 30歳以上

SC2

あなたの性別についてお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 回答したくない

SC3

下記の中にあなたが取得している資格・免許はありますか。

次の項目の中からあてはまるものすべて選んでください。（いくつでも）

- 1 幼稚園教諭免許
- 2 保育士
- 3 小学校教諭免許
- 4 中学校教諭免許
- 5 高等学校教諭免許
- 6 学校図書館司書教諭
- 7 学芸員
- 8 キャリアカウンセラー
- 9 キャリアコンサルタント
- 10 上記の中にあてはまるものはない

SC4

「幼稚園教諭免許」「保育士」の資格・免許を保有している方にお伺いします。

あなたは現在、幼稚園教諭・保育士として働いていますか。

- 1 現在、幼稚園教諭・保育士として働いている
- 2 過去に幼稚園教諭・保育士として働いたことがあるが、現在は働いていない
- 3 幼稚園教諭・保育士として働いたことはない

SC5

現在幼稚園教諭・保育士として働いている方にお伺いします。

現在の就業先の施設区分についてお答えください。

- 1 保育所
- 2 幼稚園
- 3 認定こども園
- 4 小規模保育事業所
- 5 事業所内保育事業所
- 6 退出(認可外)保育施設
- 7 その他

◆本調査

引き継ぎ、幼稚園教諭・保育士のお仕事についてお伺いします。

Q1 現在の勤務先の所属先の法人選様についてお答えください。

- 1 社会福祉法人
- 2 学校法人
- 3 株式会社・有限会社・合同会社
- 4 地方自治体(市区町村)
- 5 その他

Q2 現在の雇用形態についてお答えください。

- 1 正職員(短時間正職員を除く)
- 2 短時間正職員
- 3 パート・アルバイト
- 4 嘱託
- 5 派遣社員・契約社員
- 6 その他

Q3

現在の職場での勤務年数についてお答えください。

- 1 1年未満
- 2 1～3年目
- 3 4～6年目
- 4 7～9年目
- 5 10年以上

Q4

あなたが就業者を選んだ時に決め手になったことは何ですか。
次の項目の中からあてはまるものをすべて選んでください。(いくつでも)

- 1 働きがいがある
- 2 保育園(仕事内容)
- 3 給与
- 4 勤務時間が合う
- 5 通勤が便利
- 6 園の雰囲気・評判
- 7 雇用形態(正規・非正規)が合う
- 8 休日、賞与休暇など休暇が取りやすい
- 9 働き方改革(CT化等)が進んでいる
- 10 福利厚生(子育てや介護等との両立)が進んでいる
- 11 新人保育士への育成・指導が手厚い
- 12 キャリアアップを目指せる仕組みが整っている
- 13 法人が社会貢献を行っている
- 14 その他

Q5

現在のあなたの個人年収(総支給額)についてお答えください。

- 1 103万円未満
- 2 103～200万円未満
- 3 200～300万円未満
- 4 300～400万円未満
- 5 400～500万円未満
- 6 500万円以上
- 7 その他

06

あなたが幼稚園教師や保育士の仕事を選んだ理由は何ですか。

次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 子どもが好きだから
- 2 保育の仕事に興味があるから
- 3 得意なことを活かせると思ったから
- 4 憧れの職業だから
- 5 自分の性格に合っているから
- 6 子育てに役立つと思ったから
- 7 人のため、社会貢献できる職業だから
- 8 身近に幼稚園や保育所で働いている人がいるから
- 9 親や家族に勧められたから
- 10 就職に困らないと思ったから
- 11 中学・高校で勧められたから
- 12 身近な男性だから
- 13 その他

5

07

あなたが幼稚園や保育所の先生になりたいと思っただけは何か。

次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

また、その中で最もあてはまるものをお選びください。(ひとつだけ)

	1	2
子どもが好きだから	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2
親や叔の理解をみていたから	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4
自分か通っていた幼稚園や保育所の先生に憧れたから	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6
幼稚園や保育所で遊んだ経験があったから	<input type="checkbox"/> 7	<input type="checkbox"/> 8
中学や高校の授業で保育について学んだから	<input type="checkbox"/> 9	<input type="checkbox"/> 10
保育の仕事に興味があったから	<input type="checkbox"/> 11	<input type="checkbox"/> 12
自分の性格に合っているから	<input type="checkbox"/> 13	<input type="checkbox"/> 14
得意なことを活かせると思ったから	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 16
子育てに役立つと思ったから	<input type="checkbox"/> 17	<input type="checkbox"/> 18
人のため、社会貢献できる職業だから	<input type="checkbox"/> 19	<input type="checkbox"/> 20
身近に幼稚園教師や保育所で働いている人がいるから	<input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 22
親や先生などに勧められたから	<input type="checkbox"/> 23	<input type="checkbox"/> 24
就職に困らないと思ったから	<input type="checkbox"/> 25	<input type="checkbox"/> 26
その他 <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 27	<input type="checkbox"/> 28
わからない・覚えていない	<input type="checkbox"/> 29	<input type="checkbox"/> 30

6

Q8

あなたは新卒実習・既卒実習をしましたか。

- 1 新卒実習・既卒実習をしない
- 2 新卒実習・既卒実習をした

Q8_1

あなたは新卒実習・既卒実習に行つてどのような気持ちの変化がありましたか。 次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 子ども好きなお気持が薄くなった
- 2 子どもを好きなお気持が薄くなった
- 3 幼稚園教師・保育士になりたい気持ちが増えた
- 4 幼稚園教師・保育士になりたい気持ちが弱くなった
- 5 幼稚園教師・保育士の仕事のイメージが良くなった
- 6 幼稚園教師・保育士の仕事のイメージが悪くなった
- 7 自分に向いている仕事だと思つた
- 8 自分に向いていない仕事だと思つた
- 9 仕事を続けていけないと思つた
- 10 仕事を続けていけないと思つた
- 11 学習する意欲が増えた
- 12 学習する意欲が弱くなった
- 13 その他
- 14 特に変化はない

Q9

あなたが仕事をしながらやりがいを感じる時はどんな時ですか。 次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 子どもの笑顔を見ている時
- 2 子どもが書いてくれたとき
- 3 子どもの成長を感じた時
- 4 自分の成長を感じた時
- 5 上司や同僚に褒められた時
- 6 保護者から感謝された時
- 7 行事・イベントがうまくいった時
- 8 給料が上がった時
- 9 責任のある仕事を任せられた時
- 10 その他
- 11 やりがいはない

Q10

あなたは、理法の中で仕事上の悩みや不安、不満はありませんか。 次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 人手が足りない
- 2 仕事内容のわりに給与が低い
- 3 労働時間が不規則である
- 4 労働時間が長い
- 5 休日が取りにくい
- 6 業務内容が取りにくい
- 7 身体的負担が大きい
- 8 業務が退屈
- 9 園内の人間関係が大変で、精神的にきつい
- 10 保護者への対応が難しいため、精神的にきつい
- 11 自身の保育知識、技術に不安がある
- 12 子どもへの虐待への不安(責任の重さ)がある
- 13 その他
- 14 悩み、不安、不満はない

Q11

今後、あなたが学んでみたい・受けてみたいと思う研修はどのような内容ですか。
次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 乳児保育
- 2 幼児教育
- 3 障害児保育
- 4 養育・アレルギーマネジメント
- 5 保護衛生・安全対策
- 6 保護者支援・子育て支援
- 7 マネジメント
- 8 保育実践
- 9 その他
- 10 特になし

Q12

今後の就業の意向について教えてください。

- 1 今後も保育士として働き続けたい
- 2 今後は保育士を辞め、保育士以外の職種で働きたい
- 3 今後は保育士を辞め、働かないつもりだ

Q12.1

退職を希望する理由は何ですか。
次の項目の中からあてはまるものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 給料が安い
- 2 仕事量が多い
- 3 労働時間が長い
- 4 職場の人間関係
- 5 保護者への理解
- 6 職場環境に対する不安
- 7 保護者対応の大変さ
- 8 子育て・家事
- 9 就業上の理由(体力含む)
- 10 結婚・出産
- 11 転職
- 12 就業の準備(介護等)
- 13 転居
- 14 転職先の意向
- 15 その他

Q13 働き易い・働きやすい職場環境を構築するためには、あなただけで思うことはありますか。次の項目の中から大切だと思うことを3つまで選んでください。また、その中では最も大切なものをお選びください。

1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/>				
10	20	30	40	50
60	70	80	90	100
110	120	130	140	150
160	170	180	190	200
210	220	230	240	250
260	270	280	290	300
310	320	330	340	350
360	370	380	390	400
410	420	430	440	450
460	470	480	490	500
510	520	530	540	550
560	570	580	590	600
610	620	630	640	650
660	670	680	690	700
710	720	730	740	750
760	770	780	790	800
810	820	830	840	850
860	870	880	890	900
910	920	930	940	950
960	970	980	990	1000
1010	1020	1030	1040	1050
1060	1070	1080	1090	1100
1110	1120	1130	1140	1150
1160	1170	1180	1190	1200
1210	1220	1230	1240	1250
1260	1270	1280	1290	1300
1310	1320	1330	1340	1350
1360	1370	1380	1390	1400
1410	1420	1430	1440	1450
1460	1470	1480	1490	1500
1510	1520	1530	1540	1550
1560	1570	1580	1590	1600
1610	1620	1630	1640	1650
1660	1670	1680	1690	1700
1710	1720	1730	1740	1750
1760	1770	1780	1790	1800
1810	1820	1830	1840	1850
1860	1870	1880	1890	1900
1910	1920	1930	1940	1950
1960	1970	1980	1990	2000
2010	2020	2030	2040	2050
2060	2070	2080	2090	2100
2110	2120	2130	2140	2150
2160	2170	2180	2190	2200
2210	2220	2230	2240	2250
2260	2270	2280	2290	2300
2310	2320	2330	2340	2350
2360	2370	2380	2390	2400
2410	2420	2430	2440	2450
2460	2470	2480	2490	2500
2510	2520	2530	2540	2550
2560	2570	2580	2590	2600
2610	2620	2630	2640	2650
2660	2670	2680	2690	2700
2710	2720	2730	2740	2750
2760	2770	2780	2790	2800
2810	2820	2830	2840	2850
2860	2870	2880	2890	2900
2910	2920	2930	2940	2950
2960	2970	2980	2990	3000
3010	3020	3030	3040	3050
3060	3070	3080	3090	3100
3110	3120	3130	3140	3150
3160	3170	3180	3190	3200
3210	3220	3230	3240	3250
3260	3270	3280	3290	3300
3310	3320	3330	3340	3350
3360	3370	3380	3390	3400
3410	3420	3430	3440	3450
3460	3470	3480	3490	3500
3510	3520	3530	3540	3550
3560	3570	3580	3590	3600
3610	3620	3630	3640	3650
3660	3670	3680	3690	3700
3710	3720	3730	3740	3750
3760	3770	3780	3790	3800
3810	3820	3830	3840	3850
3860	3870	3880	3890	3900
3910	3920	3930	3940	3950
3960	3970	3980	3990	4000
4010	4020	4030	4040	4050
4060	4070	4080	4090	4100
4110	4120	4130	4140	4150
4160	4170	4180	4190	4200
4210	4220	4230	4240	4250
4260	4270	4280	4290	4300
4310	4320	4330	4340	4350
4360	4370	4380	4390	4400
4410	4420	4430	4440	4450
4460	4470	4480	4490	4500
4510	4520	4530	4540	4550
4560	4570	4580	4590	4600
4610	4620	4630	4640	4650
4660	4670	4680	4690	4700
4710	4720	4730	4740	4750
4760	4770	4780	4790	4800
4810	4820	4830	4840	4850
4860	4870	4880	4890	4900
4910	4920	4930	4940	4950
4960	4970	4980	4990	5000
5010	5020	5030	5040	5050
5060	5070	5080	5090	5100
5110	5120	5130	5140	5150
5160	5170	5180	5190	5200
5210	5220	5230	5240	5250
5260	5270	5280	5290	5300
5310	5320	5330	5340	5350
5360	5370	5380	5390	5400
5410	5420	5430	5440	5450
5460	5470	5480	5490	5500
5510	5520	5530	5540	5550
5560	5570	5580	5590	5600
5610	5620	5630	5640	5650
5660	5670	5680	5690	5700
5710	5720	5730	5740	5750
5760	5770	5780	5790	5800
5810	5820	5830	5840	5850
5860	5870	5880	5890	5900
5910	5920	5930	5940	5950
5960	5970	5980	5990	6000
6010	6020	6030	6040	6050
6060	6070	6080	6090	6100
6110	6120	6130	6140	6150
6160	6170	6180	6190	6200
6210	6220	6230	6240	6250
6260	6270	6280	6290	6300
6310	6320	6330	6340	6350
6360	6370	6380	6390	6400
6410	6420	6430	6440	6450
6460	6470	6480	6490	6500
6510	6520	6530	6540	6550
6560	6570	6580	6590	6600
6610	6620	6630	6640	6650
6660	6670	6680	6690	6700
6710	6720	6730	6740	6750
6760	6770	6780	6790	6800
6810	6820	6830	6840	6850
6860	6870	6880	6890	6900
6910	6920	6930	6940	6950
6960	6970	6980	6990	7000
7010	7020	7030	7040	7050
7060	7070	7080	7090	7100
7110	7120	7130	7140	7150
7160	7170	7180	7190	7200
7210	7220	7230	7240	7250
7260	7270	7280	7290	7300
7310	7320	7330	7340	7350
7360	7370	7380	7390	7400
7410	7420	7430	7440	7450
7460	7470	7480	7490	7500
7510	7520	7530	7540	7550
7560	7570	7580	7590	7600
7610	7620	7630	7640	7650
7660	7670	7680	7690	7700
7710	7720	7730	7740	7750
7760	7770	7780	7790	7800
7810	7820	7830	7840	7850
7860	7870	7880	7890	7900
7910	7920	7930	7940	7950
7960	7970	7980	7990	8000
8010	8020	8030	8040	8050
8060	8070	8080	8090	8100
8110	8120	8130	8140	8150
8160	8170	8180	8190	8200
8210	8220	8230	8240	8250
8260	8270	8280	8290	8300
8310	8320	8330	8340	8350
8360	8370	8380	8390	8400
8410	8420	8430	8440	8450
8460	8470	8480	8490	8500
8510	8520	8530	8540	8550
8560	8570	8580	8590	8600
8610	8620	8630	8640	8650
8660	8670	8680	8690	8700
8710	8720	8730	8740	8750
8760	8770	8780	8790	8800
8810	8820	8830	8840	8850
8860	8870	8880	8890	8900
8910	8920	8930	8940	8950
8960	8970	8980	8990	9000
9010	9020	9030	9040	9050
9060	9070	9080	9090	9100
9110	9120	9130	9140	9150
9160	9170	9180	9190	9200
9210	9220	9230	9240	9250
9260	9270	9280	9290	9300
9310	9320	9330	9340	9350
9360	9370	9380	9390	9400
9410	9420	9430	9440	9450
9460	9470	9480	9490	9500
9510	9520	9530	9540	9550
9560	9570	9580	9590	9600
9610	9620	9630	9640	9650
9660	9670	9680	9690	9700
9710	9720	9730	9740	9750
9760	9770	9780	9790	9800
9810	9820	9830	9840	9850
9860	9870	9880	9890	9900
9910	9920	9930	9940	9950
9960	9970	9980	9990	10000
10010	10020	10030	10040	10050
10060	10070	10080	10090	10100
10110	10120	10130	10140	10150
10160	10170	10180	10190	10200
10210	10220	10230	10240	10250
10260	10270	10280	10290	10300
10310	10320	10330	10340	10350
10360	10370	10380	10390	10400
10410	10420	10430	10440	10450
10460	10470	10480	10490	10500
10510	10520	10530	10540	10550
10560	10570	10580	10590	10600
10610	10620	10630	10640	10650
10660	10670	10680	10690	107

Q15

幼稚園教師や保育士を自薦す生徒や学生を増やすためには、今後どのような取組が必要になると思いますか。

次の項目の中からあてはまると思うものすべてを選んでください。(いくつでも)

- 1 補助会による修学支援
- 2 保育園の施設改善(給食・職場環境等)
- 3 保育園の社会的地位の向上
- 4 実習・インターンシップ・職業体験の充実
- 5 家庭科の授業の充実(外部講師の活用等)
- 6 保育者養成校のオープンキャンパスの充実
- 7 保育園の魅力を広めるイベントの開催
- 8 保育園を自薦す高校生・大学生向けの説明会の開催
- 9 地域の幼稚園・保育園等の情報誌(ポランティア等発行)
- 10 幼稚園・保育園等の就職に係る情報提供や説明会の開催
- 11 その他

Q16

幼稚園教師や保育士を増やすためには、中学生や高校生に保育の仕事に興味を持ってもらうことが大切だと考えています。

中学生や高校生に保育の仕事の魅力を伝えるためには、国や都府県協会、学校などがどのようなことをすればいいと思いますか。

あなたのアイデアを自由にお聞かせください。

Q17

あなたの普段の考え方や態度としてあてはまるものをそれぞれお選びください。(それぞれひとつずつ)

- | | | |
|---|---|---|
| あ | と | あ |
| て | ち | ま |
| は | ら | り |
| ま | と | あ |
| る | も | ら |
| | は | ま |
| | ま | い |
| | え | ま |
| | な | ら |
| | い | な |
| | い | い |



- 1 新しい人とすぐに仲良くなることができるほうだ 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 2 人に何かを教えることが好きだ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 3 計画的に物事を進めることが得意だ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 4 大人数で物事を進めるときは率先して意見を述べるほうだ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 5 ここでは必ず「あまりあてはまらない」を選んでください 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 6 外向的で社会的な性格だ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 7 責任感が強いほうだ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
- 8 細かいことに気を配るのが得意なほうだ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

資料2. 日本教育新聞・遊育等への掲載

OBOGの現職保育者を対象とした研修会・茶話会、現役学生との懇親会の様子については、本学のホームページに掲載するとともに、日本教育新聞（令和6年12月4日）や遊育（'23No22）にも掲載され、教育関係者に広く周知された。

遊育（'23No22）より抜粋

保育職の魅力発信！現職保育者と学生が交流 卒業生が保育実践を報告／國學院大學子ども支援学科

國學院大學は11月18日、卒業した保育者を通して保育職の魅力や課題などを探るとともに、学生と現職保育者との交流で保育職への不安感を和らげようと「現職保育者と養成校生の交流会」及び現職保育者対象ホームカミングデーが開催された。卒業生からは、時間の制約があるために思い通りに子どもに関われない不安や子どもの成長に関わる喜びなどが紹介された。

今回の事業は、文部科学省による「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」の一環。保育者養成課程で学びながらも幼稚園や保育所以外に就職する者が増える中で、保育職への就職の魅力を学生に伝えるとともに、保育職が魅力あるものとなるよう現場の課題を抽出し、現場の抱える課題に対応した知見を提供するために行われた。

◎レクチャー
人間開発学部子ども支援学科を卒業

し、幼稚園や保育所、こども園などに勤務する現職保育者に対して、中野圭祐助教が「遊びを充実させるための環境構成と関わり」と題して講義。幼稚園教育要領や保育所保育指針で示された「遊びを通じた教育」を展開するために、幼児を理解し、遊びを理解し、理解したことを保育につなげ、保育を振り返るといった流れが重要だと、具体的な保育場面の画像から子どもの姿をどう読むか、次の展開をどう読むかについて考えを出し合った。また、3歳児、4歳児、5歳児と発達や興味・関心、技量などによって展開される遊びが異なり、用意すべき教材なども違ってくることが実際の映像を通して示された。

◎現職保育者の現状報告

同学科を卒業して保育現場で働く保育者18人が、①保育職の大変なこと、困っていること、②保育職でよかったと思うこと、③保育職を続けるために必要な条件について発表。2年目の保育者は、「行事に気をとられて日常の

保育で子どもに十分に関われていないのが大変。子どもと一緒に笑える仕事なので頑張れる。体力と心の余裕が続ける条件ではないか」などと話した。時間の制約がある中で十分に子どもと関われないといった声が多数聞かれた。

◎養成校学生と現職保育者の交流

卒業生の港北幼稚園の安田奈央教諭が「幼稚園の一日と保育職の魅力」をテーマに子ども支援学科の2年生に対して講義。子どもの興味・関心を読み取り、自分なりに工夫した遊びを提供し、子どもたちが楽しんだ実践を報告し、子どもと過ごす喜びを紹介した。

100人超の学生と現職保育者とのグループ懇談会。学生が抱える不安や悩みを現職保育者が受け止め、自分の経験や現場の実情などを紹介した。「実習を楽しみにしているが、責任実習をきちんとやれるのか不安」「一人だけ仲間に加われない子にどう接したらよいか分からない」などの不安や悩みが出された。現職保育者からは、「子どもが好きだという気持ちがあればなんとかなる」「一人でいたい子の気持ちを尊重しながらよく観察して関われるきっかけを探すとよい」などのアドバイスが行われていた。

幼児教育の「職」の魅力を発信

國學院大学人間開発学部

近年、保育者養成課程への志願者数が減少傾向にあり、他業種への就職に進路変更する養成課程の学生や離職する保育者の増加、保育職への再就職が少ないなどの状況がある。これに対応し、より多くの人が幼児教育・保育の道を志すようにすることなどを旨とし、文科省は「大学等

キャリア形成支援へ

文科省の「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の『職』の魅力向上・発信事業（『職』の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」では、「中高校生を対象とした職の魅力発信」「養成校生を対象としたキャリア形成支援」「現職教諭・離職者等を対象としたキャリア形成支援」などに取り組む養成校を公募し、委託する形で事業を進めている。

大学教員が高校へ赴き講演



講演を行った、高校生と養成校生との交流の機会を設けたりして、高高校生に保育職の魅力や進路選択に役立つ情報を提供している。「養成校生を対象とした」

文科省の事業委託受け 育成プログラムを開発

を通じたキャリア形成支援による幼児教育の『職』の魅力向上・発信事業（『職』の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）を実施している。事業に取り組む学校の一つである國學院大学人間開発学部子ども支援学科は「幼児教育の『職』の『職』の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業」の「養成校生を対象とした」

「現職教諭・離職者等」を対象としたキャリア形成支援として、養成校生が保育職に興味を持つきっかけとなる。また、養成校生が保育職に興味を持つきっかけとなる。また、養成校生が保育職に興味を持つきっかけとなる。

卒業生の保育者と学生が懇談

事業の一環として11月18日には、「現職保育者と養成校生との交流会及び現職保育者対象ホームカミングイベント」を開催。保育の現代的課題を学ぶ保育者研修、子ども支援学科教員による卒業生に対するヒアリングを行う茶話会、卒業生と子ども支援学科2年生の懇談会を実施した。

実践事例を交えて 1日の生活伝える

卒業生と子ども支援学科2年生の懇談会は、教育実習に関する授業の一環として実施。幼稚園教諭の卒業生の関わりをテーマに講演し、遊びの充実、子どもの姿の読み取りから環境構成の考え方や実践事例を学

ホームカミングデーを実施。その中で保育の現代的課題についての研修を受けられる機会を設けたり、大学教員に相談できる茶話会や相談会の時間を設けたりして効力感を上げ、困難を乗り越えるそれぞれの方法を見た。保育職への定着を図る仕組みづくりを開発する。

10面に 関連記事

ウズベキスタンからインクルーシブ保育を視察（下）



川越 裕子 東京都中央区立久松幼稚園園長

接続期カリキ

じる不安を解消するため、黒板に手順や流れを掲示する、視覚的に分かる工夫を行いました。こうした環境構成には、幼稚園の教員も関わりました。子どもの実態や課題を基に「目指す幼児像・児童像」を設定したことで幼稚園の教員と小学校の教員に共通の視点ができ、それを基に保育・授業の充実を図ってきたことが接続期カリキュラムの実践にもつながりました。

実践事例を交えて 1日の生活伝える

その一方で「保育職の大変なこと困っていること」については事務に追われ、返るいい機会となった。な気持ちは余裕がない」「仕事量が多すぎて感じる」「職員数不足が足りず、休暇が取れない」などがあり、こうした点を改善が保育職を続けていくために必要になるのではないかと話した。

10面に 関連記事

ウズベキスタンからインクルーシブ保育を視察（下）

資料3. 保育職の魅力発信リーフレット

研究の成果物として、保育職の魅力発信を目的とした、三つ折りリーフレット「保育って面白い！- 親子の育ちを応援するプロへ-」を制作した。

リーフレット（上：表面、下：中面）

國學院大学人間開発学部子ども支援学科では、保育職の魅力発信に取り組んでいます。

学生への教育とともに、高校生への保育職の魅力発信や卒業生のキャリア形成支援としての専門研修や、在校生との交流を行っています。



体験授業
「遊びは学び」

保育の魅力満載！
「子ども支援10min.」

<https://www.youtube.com/@kokugakuin-kodomoshien>



國學院大学 人間開発学部
子ども支援学科

たまプラーザキャンパス



〒225-0003
神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1
「たまプラーザ駅」南口から徒歩約5分

オープンキャンパスなどの情報は、
國學院大学 webサイトへ
<https://www.kokugakuin.ac.jp/>



令和5年度文部科学省「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」
「幼児教育のプロフェッショナルリズム育成プログラムの開発」
國學院大学 人間開発学部 子ども支援学科
吉永安里・鈴木みゆき・島田由紀子・野澤純子・青木康太郎

保育って面白い！
- 親子の育ちを応援するプロへ -




もっと日本を。もっと世界へ。

國學院大学

高校生への発信

小1プロブレム解消



創造的な遊び-つくる・遊ぶ・考える



心理学からみた障害児保育



保育、幼児教育、幼保小接続、食事、健康、表現、自然、遊び、障害児保育、心理学などの体験授業を行いました。

在校生の学び

現職のOGOB講師による研修会



保育って面白い！
- 子ども支援のプロになる -

高校生との交流



在校生も、現職のOGOBとの交流会やオープンキャンパスでは高校生との交流も行いました。

卒業生へのキャリア支援

スキルアップのための専門研修



ホームカミングデー ～茶話会～

- > 保育職の大変なこと、困っていることは？
- > 保育職で良かったと思うことは？
- > 保育職を続けるために、必要な条件は？



卒業後のキャリアアップのために、ホームカミングデーでの現職保育者同士の交流や専門研修を行いました。

執筆者一覧

國學院大學人間開発学部子ども支援学科

吉永 安里 : 第1章, 第2章Ⅱ-1, Ⅱ-2, 第3章

鈴木 みゆき : 第2章Ⅱ-2, Ⅱ-2 ガイダンス資料

島田 由紀子 : 第2章Ⅲ-1, Ⅲ-2, Ⅲ-4

野澤 純子 : 第2章Ⅰ-1(1), Ⅰ-1(2), 資料-2, 資料-3

青木 康太朗 : 第2章Ⅰ-1(3), Ⅰ-2, Ⅲ-3, 資料-1

令和5年度文部科学省「大学等を通じたキャリア形成支援による幼児教育の「職」の魅力向上・発信事業（「職」の魅力向上と人材確保の好循環を生み出すモデル創出事業）」

「幼児教育のプロフェッショナルリズム育成プログラムの開発」研究成果報告書

令和6年2月29日発行

編集 國學院大學人間開発学部子ども支援学科

研究代表 吉永 安里

発行 國學院大學

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川 3-22-1

印刷 共立印刷株式会社

〒166-0012 東京都杉並区和田 1-14-13